

総会特集

**2023.9
No. 160**

あきた建築士会ニュース



鳥海町：民俗芸能伝承館『まいーれ』

一般社団法人 秋田県建築士会

民俗芸能伝承館 『まいーれ』

由利建築士会 会長 佐藤 吉則

番楽や神楽など、鳥海山麓に伝わる民俗芸能の伝習拠点として由利本荘市鳥海町に2017年3月に開館いたしました。木造平屋建てで古民家をイメージし、正面に長いひさし「雁木（がんぎ）」や屋根装飾「唐破風（からはふ）」を取り入れ、訪れる人を伝統の世界へ誘います。

中に入ると、ラウンジから鳥海山を見渡すことができます。屋根の化粧垂木をくぐり抜けると、舞台と62帖の畳敷きの広間があり、150人の観客が芸能を楽しむことができます。又、地域に保存されてきた番楽・神楽・お面など収集して展示保存されております。

鳥海小学校の子ども達が民俗芸能の継承に一生懸命取り組んでおります。一方で中学生の皆さんは「横笛」の修得に励んでおります。『まいーれ』は、その稽古場としても利用される施設。地域との連携を大切に、にぎわいを育てて末永く利用してもらえたなら嬉しいです。ずっと残る建物に、年を重ねても重厚感ある美しい建物であり、地域の民俗芸能とともに新たな歴史を刻みます。



正面玄関：唐破風屋根・建築面積 1,050㎡



公演会場：舞台・格天井杢目調



ラウンジ：鳥海山眺望・木製ルーバー



ラウンジ：屋根化粧垂木入口・坪庭

目次

会長挨拶	2		
定時会員総会	令和5年度定時会員総会が開催されました	3	
総会式典	会長式辞	一般社団法人 秋田県建築士会 会長 淡路孝次	5
	式典祝辞	秋田県議会議長 北林丈正	6
	式典祝辞	秋田県建設部建築住宅課長 金沢克己	7
	祝賀会祝辞	秋田県議会 建設委員長 兎玉政明	8
役員紹介	9		
功労者表彰	令和5年度通常総会会長表彰者紹介	13	
新入会員紹介	新入会員からのメッセージ	18	
活動報告	まちづくり委員会の活動について	19	
	令和5年度「建築士の日」記念事業・親子体験学習	24	
	令和5年度 第32回全国女性建築士連絡協議会（石川）に参加して その1	25	
	令和5年度 第32回全国女性建築士連絡協議会（石川）に参加して その2	26	
	令和4年度 第2回女性委員会学習会「あきた大会・式典視聴と意見交換会」に参加して	27	
	令和5年度 第1回女性委員会学習会「あきた大会セッションに学ぶ・意見交換会」 に参加して	27	
	令和5年度 親子体験学習「気持ちのいい家つくろう in 能代」に参加して その1	28	
令和5年度 親子体験学習「気持ちのいい家つくろう in 能代」に参加して その2	29		
会務報告	30		
地域会だより	32		
事務局だより	「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」説明会 他	39	
	建築士定期講習のお知らせ	43	
編集後記	44		

(一社) 秋田県建築士会創立 70 周年記念 全県大会由利大会

「職能集団：建築士会は素晴らしい仲間が集う団体」



一般社団法人 秋田県建築士会 会長 淡路孝次

全国大会開催とコロナ禍のため、延期されていた創立 70 周年記念事業と全県大会由利大会が、近角連合会会長のご臨席を得て 9 月 30 日（土）開催されます。70 周年記念行事としては、連合会会長のご臨席と 50 周年からの歩みをメインとする記念誌発行にとどめる予定ですが、昨年度の全国大会の成功と合わせて後進の方々には今後の活動のバイブルになると思っております。

ところで、私は現在連合会において女性委員会の担当副会長を仰せつかっております。来たる全国大会しずおか大会女性委員会セッションにおいて「魅力ある建築士会」についてとりあげていますので、その一部を紹介します。その中のアンケートで

1. 建築士会入会理由
2. 建築士会に入会して良かったこと
3. 士会事業で楽しかった企画や興味をもって企画
4. これから取り組んでみたい活動

などについて男女別に取りまとめられております。その中で男女とも“入会理由”と“入会して良かったこと”の上位 3 点に人脈・仲間・情報が入っております。

全国大会あきた大会において、大勢の県内会員から、「参加してよかった」「参加して楽しかった」等の感想をいただいておりますが、その理由は前述同様、人脈・仲間・情報が得られたことによると感じております。

ここで話を変えますが、建築とは人間が活動するための空間・構造物を、計画、設計、施工そして使用するに至るまでの行為の過程全体、あるいはその一部のことであり、建築にとって人間社会で意思を伝え合う、コミュニケーションは大変重要です。元より建築士会は建築を通してコミュニケーションが図られる宝庫であり職能集団であることから、普段あまり意識することが無いかもしれませんが、建築士会は意を同じくする仲間が集う素晴らしい団体であります。

私のような学業として建築を学ばなかった人間が、40 年以上に渡り建築業界で生業をなし生活できたのは建築士会の諸先輩が様々なシーンにおいて教示してくれたからであります。

そんな素晴らしい経験を積むことができた私は秋田県建築士会会長となって現在 4 期目となっております。秋田県建築士会が 70 周年という節目を超えることができたことは、地域貢献を標榜する当会の存在意義が諸先輩のお蔭で社会に認知いただけたものと思っておりますが、士会をさらに発展させ後進に引き継ぐ大きな責務は私にあると認識しております。それ故、この度の全国大会あきた大会が成功裏に終え、会員の意識が同じ方向を向いている今が後進に道を譲る時と思っております。

特に今年度は東北ブロック幹事県の最終年度であり、また連合会副会長としての役目も最終年度の時と思っております。秋田県建築士会の役員任期と 1 年ずれているため、ブロック会長と連合会副会長の務めは全うすべきと考えました。

「後継者は決まっているか」とよく聞かれます。以前にもお話したことがありますが、足掛け 7 年間会長を務めさせていただいて思うことは、根回しで後継者を決めるには適さない事案であるということです。

これまで、役員の方に次期会長について意見をお聞きしたことがあり、その都度名前が挙げられた方数人に打診をさせていただいたこともありますが、皆さんはほぼ現役の方でした。

私のように、自営業で年金生活者であれば時間もとれるでしょうが、現役の方に時間と費用負担を伴う活動をお願いするのは難しいことかもしれないと感じております。

理事の皆様におかれましては、ぜひ建築士会のかじ取りを担う意欲を持たれ、次期改選時には意思表示されることを期待し、話を閉じさせていただきます。

令和5年度定時会員総会が開催されました

一般社団法人秋田県建築士会の定時会員総会が、令和5年6月29日（木）午後2時30分から秋田市のキャッスルホテルで開催されました。

総会に先だち淡路孝次会長より『昨年度、41年振りに開催された全国大会を理事・監事及び会員諸氏のご協力があった全国から高い評価を頂戴した大会運営ができたことは感謝に堪えない所であります。実行委員長として改めて皆様に御礼を申し上げます。これまで私が一番の目標としたのは、建築士並びに建築士会の社会的地位向上です。我々建築士がひとりの住人として地域に根ざし、生活し、建築のプロとして地域で生業を為しております。地域社会での地位向上・評価向上はぜひとも必要であり、地域貢献活動等を通して広く広報に努めることが重要です。地域で生きる建築士のひとりとして、受身ではなく、もっと能動的に活動すべきと考えております。今年度の総会は、役員改選の時となっております。全国では初めて二名の女性県士会長が誕生しており、秋田県でも地域会会長として初めて女性の会長が誕生しました。また若返りも図られております。このことは士会活性化に大きく寄与するものと期待しております。本日の総会は今後の活動の道筋を決定する重要な審議の場であります。慎重なご判断と闊達な討議をお願いします。』との挨拶がありました。

次に、事務局から令和5年4月末現在の正会員数が833名で、このうち出席者が64名、委任状提出者が436名、合計500名で、本日の総会が定足数を満たしていることが報告されました。続

いて、秋田中央建築士会の能上崇さんが議長に選出されたほか、議事録署名人に秋田中央建築士会の若松康弘さんと佐藤温さんが選任され議案審議に移りました。

第1号議案の令和4年度事業の収支決算書類の承認の件（会計監査報告含む）と、報告事項である令和4年度の事業報告、令和5年度の事業計画及び収支予算については、それぞれ審議が行われ何れも原案通り承認されました。

また、第2号議案の理事及び監事の選任の件については、任期満了に伴う役員改選のため理事24名、監事3名がそれぞれ新たに選任されました。

総会終了後直ちに臨時理事会が開催され、会長及び副会長等の案件を議題としたところ、淡路孝次理事が全会一致で再任されたほか、副会長3名と専務理事1名を新たに選任いたしました。（※新役員については、別途紹介ページをご覧ください。）

続いて、午後4時から「式典」が開催され、4期目の就任となった淡路会長の式辞の後、9名の方々に永年功労者表彰が授与されました。ご来賓を代表し、秋田県議会議長の北林丈正様、秋田県建設部建築住宅課長の金沢克己様からご祝辞を頂戴いたしました。

その後、4年ぶりにご来賓をお招きした祝賀会が開催されました。淡路会長が4期目の挨拶の後、新三役が紹介されました。また、あきた大会で功労のあった会員5名に特別功労者表彰が授与されました。ご来賓を代表して、秋田県議会建設委員長の児玉政明様よりご祝辞を頂戴し、（一財）秋田県建築住宅センター理事長の中野賢俊様の乾杯で開宴となりました。出席者は終始和やかにご歓談され、しばらくぶりの通常開催に満足されているようでした。最後は中西副会長の万歳三唱で閉会いたしました。





会 長 式 辞

一般社団法人 秋田県建築士会 会長 淡 路 孝 次

本日は令和5年度秋田県建築士会通常総会終了後の記念式典を、秋田県議会議長の当会顧問、また、当会会員であられる北林丈正様、秋田県議会建設委員長の児玉政明様、秋田県建設部建築住宅課長の金沢克己様をはじめ、多数のご来賓の皆様を御臨席を賜り、記念式典を開催できますことは誠にうれしい限りでございます。

特に昨年度は秋田県建築士会創立70周年という節目の年に全国大会を秋田で開催し、会員一同の一致団結した「おもてなし」に全国から来られた仲間から多くの賛辞を頂戴することができましたことは、地域貢献を標榜する秋田県建築士会会員にとりまして自負してよいことと思っており、会長として会員の皆様並びに賛助協力会員の皆様に改めて御礼申し上げる次第です。後ほどその功績に対し、代表とされる5名の方を特別に表彰させていただきますが、全ての会員が表彰に値するものであり、皆さんと共に祝いしたいと思っております。

さて、本会に先立ち開催されました定時会員総会において、上程された議案全てにご承認いただきました。その中で任期満了による役員理事改選案について、原案通りご承認いただきましたことをご報告いたします。その後の臨時理事会におきましては正副会長案件など審議致しましたところ、不肖私が引き続き先頭に立ち、かじ取りをさせていただくことになりましたことをまずもって御報告させていただきます。4期目に入るにあたり、これまでと同様に建築士並びに建築士会の地位向上を目標とし地域貢献に努めることに役員一同努力いたしますが、会員の皆様からもこれまで以上のご協力を賜りますようお願いいたします。また、本日もご臨席賜りましたご来賓の皆様におかれましては、倍旧のご教示賜りますようお願いいたします。

話は変わりますが、我々建築士が規範とする建築基準法第一条には「基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もつて公共の福祉の増進に資することを目的とする。」とあり、その目的達成のため、建築の専門家としての資質に関して建築士法第一条には「技術者の資格を定めて、その業務

の適正をはかり、もつて建築物の質の向上に寄与させることを目的とする。」とあります。

秋田県建築士会会員におかれましても法律に記載されている目的達成のため、多くの会員は日々自身の生業にて、研鑽を重ね、地域貢献活動に参画し、地域の発展の為努力いたしております。しかしながら構造計算偽装問題以来、建築士の社会的評価が下がり、善意の活動も適正な評価がなされていないように感じております。

多くの建築士会会員が、建築のプロとして、地域の活性と発展のため地域貢献活動に参加し、努力いたしてきております。建築士が地域でその技量を発揮できるのはその機会があればということになりますので、本日もご臨席賜りましたご来賓の皆様には、地域に住まい地域で活躍する建築士を評価いただき、地域での種々の計画に参画させていただければ幸いです。

結びになりますが、会員の皆様。当会の発展のため長年ご尽力いただいた永年功労者の9名の仲間を、本式典において後ほど表彰させていただきます。受彰される建築士会会員の皆様におかれては、日々の活動に心からの感謝を述べさせていただき、お祝いを申し上げさせていただきます。引き続き地域の発展に、また建築士会活動に御活躍いただけますこと、並びに本日もご臨席いただきました皆様のご健勝を心から祈念し式辞といたします。



式 典 祝 辞

秋田県議会議長 北 林 丈 正

((一社) 秋田県建築士会 顧問)

御紹介いただきました北林丈正と申します。

今、御紹介ありましたように、私も建築士会の会員でありますけれども、今日は、県議会議長として御挨拶を申し述べさせていただきます。

まずもって、秋田県建築士会 令和5年度定時総会が無事に終了いたしました、このような式典にお招きを頂き、誠にありがとうございます。

本日の定時総会が関係の皆様、多数御出席のもと、盛会のうちに終了されましたことを心からお祝い申し上げます。また、ただいま永年功労の表彰を受けられました9名の皆様におかれましては、永年にわたり、高い志を持って積み重ねてこられた御尽力に対しまして、深い敬意を表する次第であります。本当におめでとうございます。

私事で恐縮ですが、私は、大学の建築科を卒業し、大手建設会社に就職いたしました。当時は、二年間の実務経験で一級建築士の受験資格があるということで、一級建築士の受験をしました。大変難しいと聞いていたけれども、学科試験を一回で合格し、意外と簡単だなと思えば、現場勤務をする中、製図試験の対策をするというのはなかなか難しく、二回連続で製図の試験を落ちました。当時、二回連続して落ちると、また学科からやり直しということで、再度、学科試験から受験し、今度は一回で製図試験を合格し、一級建築士の資格をとったという経験をいたしました。当時、大変うれしかった記憶がございます。

こうして苦勞して取った一級建築士でありますけれども、今は、その資格を使うことなく、ただ、建築士会の会費要員になっているところでございます。先ほど、淡路会長からお話を聞きましたが、建築士会も、高齢化をはじめ、いろいろな問題があるということで、私もその解決のために力になりたいなと思っているところでございます。

昨年、第64回建築士会全国大会あきた大会が、ミルハスのこけら落としも兼ねて行われて、大成功に終えられたということで、私も建築士会の会員として、お手伝いしなければいけなかった訳でありますけれども、12月議会、定例会の最中でもありまして、残念ながら、参加することができませんでした。

大会記念誌を拝見して、全国から集まった皆様が、秋田県のいろいろな建物、文化、自然にふれて、喜んで帰られたということで、全国に秋田のすばらしさを情報発信することができ、すばらしい結果が得られた大会だったのではないかと考えております。

建築士は、時代に適した建築物を作り出すことで社会の健全な発展を支える極めて重要な役割を担っております。秋田県における最大の課題は、人口減少、高齢化であります。それに関しても、建築士が関わることは、たくさんあるかと思えます。高齢化していく社会の中では、雪下ろしや除雪が大変でないような住まいが求められています。また、県が取り組んでいる移住促進に関しましては、移住する気持ちがあってもなかなか入る住宅がないということや、あるいは若い方にとっては、きれいな街並みといったことも移住を決める重要な要素であります。そのような点からも建築士の皆様には、さまざまなアイデアを活かして、そして、県民が安心して快適に暮らせる街作りに、引き続き御尽力を賜りますようお願いを申し上げます。

私ども県議会といたしましても、魅力ある地域、活力ある街づくりとは何かを、皆様と一緒に考えながら、全ての県民が安全で安心して暮らせる地域づくりに、尚一層の努力を重ねて参る所存であります。結びに、秋田県建築士会の益々の御発展と、本日御出席の皆様のご活躍と御健勝をお祈りし、お祝いの挨拶といたします。

今日は誠にありがとうございました。



式 典 祝 辞

秋田県建設部建築住宅課長 金 沢 克 己

((一社) 秋田県建築士会 相談役)

ただ今、ご紹介いただきました秋田県建設部建築住宅課の金沢です。

まずもって、一般社団法人秋田県建築士会の令和5年度定時会員総会が、滞りなく終わられましたことに、心からお祝い申し上げます。

また、淡路会長をはじめ、会員の皆様方には、日ごろより、本県の建築住宅行政の推進、および、指定登録機関としての適正な建築士登録事務の実施にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

併せて、本日、永年功労の表彰を受けられた皆様におかれましては、これまでのご功績に深く敬意を表しますとともに、今後、益々のご活躍を祈念申し上げます。

さて、昨年話題になりますが、10月に「あきた芸術劇場ミルハス」を主会場として、41年ぶりに本県で開催された「第64回建築士会全国大会あきた大会」が盛会裏に終わられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

コロナ禍ではありましたが、数多くの建築士の皆様にお越しいただき、秋田の良さを感じていただけたと思います。

この場をお借りして、大会の開催にご尽力された淡路会長をはじめ、実行委員会やスタッフの皆様にご心から感謝申し上げます。

一方、建築分野の話題に目を向けますと、昨年6月17日に、いわゆる「省エネ関連改正法」が公布されました。

改正法は段階的な施行となりますが、2年後の令和7年からは、一般の木造戸建住宅も省エネ基準の適合対象に加わるほか、建築確認の際の4号特例の

縮小や構造計算が必要な木造建築物の規模の引き下げなど、建築のルールがこれまでと大きく変わることになります。

県では、国とともに新たな制度の周知に努めてまいりますので、皆様におかれましても、ご留意いただけますと幸いです。

また、デジタル化の話題に目を向けますと、国では、建築士の登録簿をインターネットで閲覧できるように、令和6年6月までに必要な法整備を行い、令和7年6月までに閲覧システムを稼働させることとしています。

今後、二級・木造建築士登録簿のインターネットでの閲覧について、貴会と協議しながら進めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

結びになりますが、秋田県建築士会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

本日は誠にありがとうございます。



祝 賀 会 祝 辞

秋田県議会 建設委員長 児玉政明
(一社)秋田県建築士会 顧問

秋田県議会 建設委員会 委員長の児玉政明でございます。

本日は、令和5年度 一般社団法人 秋田県建築士会 定時総会の式典及び祝賀会におきいただき、誠にありがとうございます。まずもって、本日の定時総会がに終了されましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、本日、の表彰を受けられた9名の皆様、特別功労の表彰を受けられた5名の皆様におかれましては、これまでの御努力とに対し、深く敬意をしますとともに、心からお祝いを申し上げます。

さて、我々の社会に大きな影響をもたらした新型コロナウイルス感染症も、今年の5月8日から感染症法上の位置づけが五類へ引き下げられ、ようやく、これまでの日常生活を取り戻しつつあるものと感じております。こうした明るい兆しの一方で、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に端を発するエネルギーや原材料価格の高騰が、日本経済 並びに 国民の生

活に深刻な影響を及ぼしております。

また、かねてからの課題である労働力不足についても、人口減少の進展とともに深刻な状況となっており、まさに国を挙げた対策が急務となっております。

こうした状況にあっても、近年では、豪雨や地震などの自然災害が頻発化・激甚化しております。皆様の培われた知識と技術は、災害からの復旧・復興においても無くてはならないものであり、建築士の皆様の御活躍の場は、益々 広がり続けるものと存じます。

私ども秋田県議会 建設委員会といたしましても、全ての県民が、安全に安心して暮らせる地域づくりのため、一層の努力を重ねてまいります。

結びになりましたが、貴会の益々の御発展と 御臨席の皆様の更なる御活躍、御健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございました。



令和5年6月29日の定時会員総会及び理事会で 役員が改選になりました。 役員の皆様をご紹介します。

(1) 役員（理事及び監事）

役職名	氏名	地域建築士会名
会長	淡路 孝次	秋田中央
副会長	中西 純悦	鹿角
	加藤 一成	秋田中央
	佐藤 隆志	湯沢雄勝
専務理事	小田島 誠	仙北
常務理事	松橋 雅子	大館北秋
	大高 勇	能代山本
	鈴木 博実	横手
理事	戸舘 康博	鹿角
	三浦 司	大館北秋
	櫻庭 徹	能代山本
	赤川 孝則	秋田中央
	小原 正明	秋田中央
	谷口 満州美	秋田中央
	佐藤 吉則	由利

役職名	氏名	地域建築士会名
理事	工藤 博臣	由利
	佐藤 賢一	仙北
	黒田 稔	横手
	山脇 一樹	湯沢雄勝
	草薙 渉	連合会委員（仙北）
	熊谷 昌剛	青年委員長（大館北秋）
	加藤 一喜	青年副委員長（能代山本）
	清水川 道子	女性委員長（湯沢雄勝）
	安達 真由美	女性副委員長（大館北秋田）
監事	斉藤 留美子	大館北秋
	山脇 成吉	湯沢雄勝
	根 知宏	会員以外

(2) 顧問、相談役、名誉会員

顧問	北林 丈正	秋田県議会議長
	児玉 政明	秋田県議会建設委員長
	小竹 哲夫	(一社) 秋田県建築士会元会長
	湯沢 隆市	(一社) 秋田県建築士会前会長
相談役	川辺 透	秋田県建設部長
	金沢 克己	秋田県建設部建築住宅課長
	石川 成	(一社) 秋田県建築士会前副会長
	田仲 雅美	(一社) 秋田県建築士会前副会長
	照井 郁人	(一社) 秋田県建築士会前副会長

【役員の皆様からのコメント】



副会長
中西 純悦

1979年に建築士会に入会し早43年。この度、秋田県建築士会副会長に就任させて頂きましたが、あまりの大役に大変恐縮しております。引き受けた以上精一杯務めさせていただきます。より良い建築士会、個々の資質向上を目指し頑張りたいと思います。



副会長
加藤 一成

この度、秋田中央建築士会より県本部役員として任命いただきました。昨年の全国大会では各所案内部門の統括責任者として参加させていただき、多くの会員の皆様のご協力をいただき大変ありがとうございました。全国各地で様々な災害が頻発する昨今、会員や他組織と協力・連携し、建築の安全性の確保、品質向上、環境への配慮など、さまざまな課題がある中、少しでも良くなるような活動に協力してまいります。また、会員の皆様にとって有益な情報提供や学びの機会を提供し、建築士としてのスキル向上をサポートして行きたいと考えております。



副会長
佐藤 隆志

二十歳からタバコを吸い続けて35年。毎日1箱のタバコを吸い続けてきましたが、先日初めて医者から禁煙を勧められました。「やっぱり！」とは思いましたが、身体のあちこちにガタが出てきています。このコメント記入を機にニコチンとお別れするよう頑張りたいと思っております。この頃です。役員7年目になりますが、どうぞよろしくお願い致します。



専務理事
小田島 誠

この度専務理事を再任となりました小田島です。4期目となりこれまで役員としての活動がどの程度貢献できたか分かりませんが今後も微力ながら会長を支え精一杯努力していきます。秋田県建築士会は昨年の建築士会全国大会あきた大会の経験より一層連携が深まりました。コロナ感染症も5類となり士会活動も活発になります。秋田県建築士会大会も4年ぶりに由利で開催されますので皆様方と共に大会成功に向けていきたいと思っております。私たち建築士会が地域の発展に寄与すること、会員相互の研鑽ためになるように精一杯努力する所存でありますので、皆様方のお力添え何卒よろしくお願い致します。



常務理事
松橋 雅子

女性委員長として3期6年間理事を務めさせていただき、今年度より大館北秋田建築士会会長として引き続き理事を務めさせていただくことになりました。これまで9年間地域会をけん引してきてくださった前石川会長には、笑顔をもって盛り上げていく姿から多くのことを学ばせていただきました。何事にもプラス思考で笑顔を絶やさず、微力ながら秋田県建築士会のために努めてまいります。特に、今後は、地域密着でまちづくりに関わり地域をアシストして共に活性化を目指し。また青年委員会・女性委員会メンバーとともに若手建築士たちが士会活動に参画しやすい環境をつくり、建築士同士のサポート、ネットワークができる環境をつくりたいと思っております。



常務理事
大高 勇

令和5年度から理事会役員が3割ほど入れ替わり、一層若返った感があります。それだけ自分が年齢を重ねてきたのかも知れませんが、昨年の全国大会で中心的な活躍をされた顔ぶれが見受けられ、より機動力が備わった理事会となる事でしょう。

前期に続き常務理事の役職に加えて、この度は総務委員会委員長を担う事となります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



常務理事
鈴木 博実

この度、横手建築士会会長として理事に就任させていただきました。コロナ禍の混沌とした中で、不自由さから得たものも多かったと思います。中でも昨年の建築士会全国大会あきた大会の成功は大きな経験で、建築士会にとっても、個人にとってもおおきな財産となりました。一息つかず、これを契機に、次の活動につなげたいものです。横手建築士会では会員相互の活動と交流、ホームページの公開をし、会員名簿の整理を行いながら、県建築士会、建築士会連合会との連携のために、急がず確実に活動させていただきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



理事
戸館 康博

第64回建築士会全国大会「あきた大会」が成功裏に終わり、41年ぶりの秋田県開催、参加出来た方には貴重なものになり、またご苦労された方に於いては、誠に感謝申し上げます。

この度、二期目の理事を務めることとなりました。変化し続ける業界を見据えながら、粛々と責務を果たしてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。



理事
三浦 司

今年度より理事に就任した大館北秋田地区の三浦でございます。昨年度、秋田県一丸となって取り組んだ「全国大会あきた大会」。お手伝いをさせていただき過程で、皆様のご活躍を間近で拝見し、改めて秋田県建築士会の絆や団結力の強さというものに痛く感銘を受けました。今後、益々の建築士会発展のため、微力ながら理事としての務めを全うしていきたいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



理事
櫻庭 徹

微力ながら建築士会の為になればと思っております。よろしくお願いいたします。



理事
赤川 孝則

全国大会あきた大会も無事成功裏に終わり、今年から5期目の理事として新たな気持ちで職責を果してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



理事
小原 正明

まちづくり委員長の小原です。7月14日からの大雨で被災された皆様にお見舞い申し上げます。連合会の委員会や全国大会等で「災害対応」や「浸水被害住宅の技術対策」の必要性を説かれていながら、実践できたのは会員への情報提供でした。体制が整わず、被災者が最も求める被害認定調査に協力できませんでした。「事前の備え」の重要性を痛感したところです。会員の皆様には、「防災」に限らず、常日頃の業務の中で、「景観・防災・歴史・街中（空き家）・福祉・木」のまちづくりを意識して、取り組んでいただければと思います。皆様とともにまちづくり活動・地域貢献活動の活性化に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



理事
谷口満州美

この度、理事を務めさせていただき事になりました秋田中央の谷口です。建築士会に入会して二十数年になります。秋田中央支部では青年部会長・会計理事・事業委員長を経て現在副会長を務めています。被災建物応急危険度判定士の派遣では2004年10月に新潟県中越地震で長岡市と2011年4月には東北地方太平洋沖地震で宮城県女川町にて活動をしてまいりました。今後は微力ですが建築士会の発展に貢献できればと思っておりますのでよろしくお願い致します。



理事
佐藤 吉則

皆さん、こんにちは。由利支部の佐藤と申します。私はこよなく山の高山植物を愛し、大空の男鹿でパラグライダーを楽しんでいる還暦を過ぎた少年です。秋田駒ヶ岳の起伏豊かな地形が大好きです。ムーミン谷のお花畑、恐竜が出てきそうな樹林・大焼砂・火山口・田沢湖が眼下に見渡す事ができます。風を切りトンビになったように、雄大な自然を大空から見る光景はまさに「鳥」になったような感覚にもなります。9月30日より由利大会が開催されます。大会テーマは『みらいへ』若手設計者の育成と第一線で活躍している建築家の記念講演・建築フォーラム・エクスカージョンをご用意しております。会員相互の親睦をはかり楽しく開催される事をお願いします。皆様のご参加をお待ちしております。



理事
工藤 博臣

由利建築士会の専務理事を務めます、工藤博臣です。このたび本部理事を拝命いたしましたので、2年間どうぞよろしくをお願いいたします。

昨年は、全国大会「あきた大会」を皆様と一緒に創り上げ、大成功をおさめたと考えております。一生に一回体験出来るかできないかの全国大会ですので、良い機会に恵まれたと心から嬉しく感じており、素晴らしい時間を過ごせたことに感謝しております。本年も、皆様との出会いを大事にし、様々なことに挑戦していこうと考えておりますので、どうぞご指導よろしくをお願いいたします。



理事
佐藤 賢一

この度、新しく理事を仰せつかりました仙北建築士会の佐藤です。秋田県建築士会のため、お役に立てるかわかりませんが、頑張りたいと思います。よろしくをお願いいたします。



理事
黒田 稔

平成5年にAターンし、横手市増田町に住んで30年になります。その3年後に建築士会に仲間入りし、今日に至るまでたくさんの方々と知り合い、ご指導を受けながら慌ただしい日々を過ごしています。増田の内蔵の棟札に祖父の名を見つけて以来、土蔵の不思議に魅了され、写真集「増田の蔵」を発刊したのちに、まさか増田が重伝建に選定されようとは思ってもみませんでした。現在は、増田まちなみ研究会の仲間たちと修理修景事業に取り組む傍ら、蔵の黒漆喰磨きの職人育成にも力を注いでいます。伝統的木造建築や土蔵の技術力の高さは、奥が深いゆえに100年以上前の職人たちが「これで良かったのか？」と逆に密かに問いかけてきます。次世代に引き継げる答え探しにどっぷりと浸かっています。



理事
山脇 一樹

ここ数年来、コロナ等の影響で地域会の活動が少なくなっておりましたので、県士会、地域会の活動併せて頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



理事
草薙 渉

この度、前期に引き続き理事を仰せつかりました草薙です。今回の改選で2期(4年)務めさせて頂いた青年委員長役目を終え、これからは(公社)日本建築士会連合会青年委員会東北ブロック代表の立場として尽力させていただきます。

昨今、チャットGPT、AI、メタバース、ICT、点群、BIM等の新技術が我々建築業界にもどんどん参入してきています。そして、これらの技術はニューノーマルの一つになること間違いありません。こういった目まぐるしく変化する時代に取り残されぬよう建築士会を大いに活用し、情報収集を行い最新の技術者であることを心掛け、また、有益な情報は皆さんへ早くお届けしたいと考えています。引き続きよろしくをお願いいたします。『われわれ建築士は 社会の発展のため 最新の指導者たるべし』



理事
熊谷 昌剛

この度、青年委員長を務めさせて頂いたく熊谷です。それまで青年委員会では特に役に就くこともなく過ごしてきたため、いきなりの重責でどこまで務まるのか正直不安だらけです。至らない点が多々あると思いますので、遠慮なくご指摘いただければ幸いです。

昨年度盛大に行われた全国大会あきた大会においては青年部員も一丸となって取り組みましたが、青年部員同士の関係はもとより、親会や女性部との関係もより密接になったと感じております。私も、前任の方々が残してくれた人との繋がりという財産を引き継ぎ、会員同士の連携のもと、会員そして地域にとって有益となるような、そして何より会員が楽しめるような活動ができるよう尽力したいと思います。



理事
加藤 一喜

青年副委員長を務めさせていただきます能代山本建築士会の加藤一喜です。三種町で工務店を経営しており主に能代市から秋田市内を走り回っています。建築士会に入会しいろいろな方と知り合うことができ、仲間も増えとても感謝しております。

昨年の全国大会も無事に終わり、今期の理事会役員は多数入れ替わる様ですが新たなメンバーと共に楽しく頑張っていきたいと思っておりますので今後とも宜しくお願いいたします。



理事
清水川道子

今年度から女性委員会の委員長を務めさせて頂くことになりました。

6月の親子体験学習では、能代山本の親会・青年部の皆さんとの協力で共に活動が出来、7月の石川県で行われた全建女では、被災地報告において東北6県が一つになるという初の試みに触れ、繋がることで生まれる喜びを感じています。新米の委員長なので会員の皆さんに助けをもらいながら、皆で楽しく活動していきたいと思っております。ぜひ一度学習会に参加してみませんか。



理事
安達真由美

女性委員会からの推薦で着任となりました。大館市の有限会社アトリエ建築設計室で一級建築士として設計・監理業務を行っています。建築士の業務の他、「まちづくり」「地域活性化」などへのボランティア活動を続けてきました。近年ではヘリテージマネージャーにも登録し、活動を行っています。

この度は建築士の諸先輩方に混じっての任務に緊張を覚えています。私なりに何事もポジティブシンキングでお役にたてるよう努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



監事
齋藤留美子

監事就任3年目に入り、折り返し地点を過ぎたところですが、そんなときに大先輩の泉谷監事が退任し、とても頼りにしておりましたので、寂しい限りですが、お世話になりましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

また、経理業務に関しては、事務局の日頃の努力に大変感謝しております。会員数の減少と高齢化は、今後の秋田県建築士会の活動に影響を及ぼすことは言うまでもなく、現実の問題として受け止め、危機感を持って対応すべきときであり、検討が必要と思われます。会員の皆様の意見と行動が重要です。建築士会は、会員皆様の努力により成り立っていることを、思わずにはられません。



監事
山脇 成吉

(株)山脇組一級建築士事務所管理建築士をしています。

亡き父が雄勝建築士会の会長をしていた古き良き時代に士会に入会してから早いもので30数年が過ぎようとしています。この度県建築士会 監事に任命していただきました。

微力ながら県士会のお役に立てるよう努力しますので宜しくお願い致します。



監事
根 知宏

職人の高齢化が著しく、引退をされる職人も急増している中で建築業界は資材の高騰とともに1980年には94万人いた建築大工職人も2020年は29万人(国勢調査)へと大きく減少し、秋田県ではその年齢層も最近の10年で9歳も平均年齢が上がるなど喫緊の課題となっております。若年技能者の育成とともに1人で多くの業種が出来る多能工の育成や、高齢の建築職人に合わせたゆとりある工期の設定など、高齢化社会に向かって秋田県建築士会の皆様と協力を図りながら外部監事として適正な組織運営を応援してゆきたいと思っております。

また、同日各位委員会の委員が決まりましたので、併せてご紹介いたします。

令和5年度 (一社) 秋田県建築士会 委員会名簿

委員会名	委員長		副委員長		委員	
総務	能代	大高 勇	北秋	三浦 司	鹿角	金沢 拓
			秋田	赤川 孝則	能代	中川 義明
			仙北	佐藤 賢一	秋田	能代 佐々木政幸
					秋田	能上 崇
					由利	正木 和美
					仙北	栗津 憲靖
					横手	北嶋 清美
					雄勝	藤原 広幸
事業	由利	佐藤 吉則	鹿角	戸舘 康博	鹿角	黒沢 賢
			秋田	谷口満州美	北秋	長谷部 徹
			横手	黒田 稔	能代	田村喜代宣
					秋田	大友 実
					由利	佐藤 孝一
					仙北	岡田 茂義
					横手	川本 一義
					雄勝	由利 靖
まちづくり	秋田	小原 正明	歴町	松塚 智宏	鹿角	畠山 泰三
			福町	松橋 雅子	由利	周防 敦子
			景観	鈴木 博実	雄勝	加納 大輔
			空家	桜庭 徹		
			防災	佐々木昭仁		
			木	大高 勇		

委員会名	委員長		副委員長		委員	
青年	北秋	熊谷 昌剛	能代	加藤 一喜	鹿角	安保 尊
			雄勝	加納 大輔	鹿角	木村 嘉幸
					北秋	北村 公晴
					能代	板垣 秋範
					秋田	原田 裕
					秋田	徳光慎太郎
					由利	大場 啓吾
					由利	大日向賢人
					仙北	松塚 智宏
					仙北	大友 崇嗣
					横手	亀井沢洋平
					横手	岩村 優幸
					雄勝	阿部 俊介
					仙北	草薙 涉
女性	雄勝	清水川道子	北秋	安達真由美	鹿角	石木まり子
			秋田	伊藤加久子	北秋	藤嶋 秀美
			由利	周防 敦子	能代	池田 佐保
					秋田	樋渡 博子
					秋田	須藤 亜紀
					秋田	大滝恵里子
					仙北	藤田 晶子
					仙北	小林 凡子
					横手	小幡 寛子
					雄勝	佐藤 全子

※北秋：大館北秋田、能代：能代山本、秋田：秋田中央、雄勝：湯沢雄勝

令和5年度通常総会
会長表彰者紹介

永年功労者表彰



畠山 泰三

地域会名 鹿角建築士会
勤務先(名称) アズ・サポート
(住所) 鹿角市花輪字下花輪 10-3 ビスタハイム 1階 101号
趣味 ドライブ・名所めぐり

コメント

この度は、永年功労者表彰を頂きまして誠に有難うございました。建築業界に身を置き四十五年になりますが、設計業務・工事監理・工事監督補助業務など、設計事務所勤務で多くの経験をさせていただき、また、業界の諸先輩の方々からは、たくさんの事を学ばせていただきました。現在は、設計事務所を営みながら現場のサポート役の仕事をさせていただいております。四十五年経った今でも自身の知識不足を感じております。一般社会ではもう定年を迎えた年齢ですが、健康に留意し仕事を続けながらもできる範囲で士会の活動も続けていければと思います。今後の建築士会のご繁栄と、会員皆様のご活躍を祈念し、受賞の御礼を申し上げます。



松岡 裕

地域会名 大館北秋田建築士会
勤務先(名称) 非常勤講師 職業訓練法人 北秋田職業訓練協会
(住所) 秋田県北秋田市花園町 15-1
趣味 写真撮影・国内外旅行等

コメント

会員の皆様には、四十数年間大変お世話になり、ありがとうございました。近年趣味の写真撮影に行き詰まると、旅行に出かけます。それは、二度と来られないかもとの思いから、シャッターを切る事が増えるためでした。国内も行っていないところがあるのに海外かと言われるのがシャクで、47都道府県全てを巡り、県内の主な地域に行くため、郵便局(簡易郵便局共)402カ所(当時)にも千円貯金に回りました。その後、人生の1%を海外旅行に充てようと計画しましたが、両親の介護やコロナ過で、体力・気力が衰え、今は、県内の自然や花等を中心に撮影しています。会員の皆様にはよい撮影情報があれば、ご教示下さるようお願いいたします。



石田和久

地域会名 能代山本建築士会
勤務先(名称) 石田工務店
(住所) 能代市二ツ井町字上野 98-6
趣味 特になし

コメント

この度は、永年功労者表彰を頂き誠にありがとうございます。
会員として目立った活動もしないまま、在籍年数が長いという事で表彰を受けて、大変恐縮しているところです。
常日頃、会員の皆様の活動を見聞きして自分の励みになっており、昨年は全国大会あきた大会の成功を陰ながらお祈りし、成功裡に終えた事を心より喜んでおります。
今後とも皆様のご活躍と建築士会の発展を願いまして、お礼のコメントといたします。



小玉博人

地域会名 秋田中央建築士会(五城目建築士会)
勤務先(名称) 一級建築士事務所 小玉材木店
(住所) 南秋田郡五城目町高崎字田中 215-1
趣味 仲間たちとの家呑み、路地のチャリぶら、模型造り(主に飛行機)

コメント

最初にこの表彰のお話を頂いた時、「わたしが—」との思もありましたが僣越ながら謹んでお受けいたす事といたしました。誠に有難うございます。
最近、ヨーロッパの紀行番組を良く観ます。感じる事は、古い建物や街並みを守り次世代に紡いでいる事です。
効率的な事よりも「無駄」や「遊び＝クリアランス」を大事にしている文化。そこには歴史的背景もあると思いますが、一方我が国はどうでしょう。
2年後に迫っている法規の大改正など、先人から培ってきた伝統や文化にどう影響があるか、何か「コスパ」や数字ばかり優先されるような事にならないか。
絵が好きだったり、物を作るのが得意だったり、そんな建築を目指す若い世代の夢と希望を持てる時代が続くよう。老婆心ながらおじさんの思うこの頃。これからも我が建築士会の益々のご発展をご祈念しております。



佐藤 温

地域会名 秋田中央建築士会
勤務先(名称) 一般財団法人 秋田県建築住宅センター
(住所) 秋田市中通2-3-8 秋田アトリオンビル 5F
趣味 ドライブ 散歩

コメント

この度は、永年功労者表彰を頂き誠にありがとうございました。
秋田県の建築行政職員として40年近く勤務しましたが、建築確認の審査が最初の仕事でした。その後、まちづくり、営繕など様々な業務経験をさせていただきました。定年退職後の現在は初心に戻って長期間離れていた建築確認等の審査業務に再び就いておりますが、若い頃に覚えた古い知識が頭から離れず、その後の法改正や新しい規則等に対応していくのに難儀しておりますが、気力を振り絞って体力が許す限り続けていきたいと思っております。
これからも建築士会の益々のご繁栄と、会員の皆様のご活躍を心から祈念申し上げます。



木原 忠悦

地域会名 由利建築士会
勤務先(名称) 木原工務店
(住所) 由利本荘市高尾字山根1番地
趣味 野球観戦 旅行 熱帯魚を育て鑑賞する事

コメント

この度は、永年功労者表彰を頂き誠に有難うございました。これも偏に、関係者の皆様の御指導のおかげと深く感謝申し上げます。今後も微力ではありますが、少しでも皆様のお役に立つことができるよう努めて参りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

今後も、さらなる建築士会の御繁栄と会員皆様の御活躍を心より御祈念申し上げます。



高橋 榮子

地域会名 仙北建築士会
趣味 油絵、フラワーアレンジメント

コメント

この度は、県の功労者表彰を頂き大変ありがとうございました。大曲工業高校から建築設計事務所、工務店、建設会社と建築の道をずっと歩み続けて、45才から設計事務所を開設し、20年余やって参りました。子育てや家業(農業)をしながら仕事を続けてこれたのも、皆様のご理解やお力添えの賜物と感謝しております。又、建築士会や女性委員会で出会った方達とは、仕事と同じ年数だけ出会いがあり、同じ思いを共有する事ができ、励みになりました。本当にお世話になり、ありがとうございました。



竹内 猛

地域会名 横手建築士会
勤務先(名称) 有限会社 黒沢工務店
(住所) 横手市横手町字三ノ口19-1
趣味 趣味は海釣り(深海)

コメント

建築業界にお世話になり半世紀以上経ち、建築士も45年が経ちました。インパクトの強い思い出としては、横手の豪雪48・49年の出来事で考えさせられました。各設計者さんたちも、雪にどう対応した建物造りが良いか考えさせられた時代と思います。

今ではローコスト等で軒の出の少ない屋根の型が多いようですが、当時の雪国の屋根は外壁を守る考え方が根強かったと思われました。

これからはエネルギー対応・地球環境に配慮した住宅だと設計者に求められる課題、若い人達でなければ対応が出来ない時代と思われ、ついていくのもしんどい時代と思われれます。



築 瀬 修 一

地 域 会 名 湯沢雄勝建築士会
勤務先(名称) 横手労働基準監督署
(住所) 横手市旭川一丁目2-23
趣 味 バイク、読書

コ メ ン ト

今回、永年功労者表彰を受け感謝しております。
湯沢市役所を退職してから足かけ5年、現在、横手労働基準監督署に非常勤で勤めています。仕事の内容は、主に型枠支保工、足場設置等の計画届の審査をしています。市役所時代は「労働安全衛生法」など気にしたことも無く、今思えば、業者の皆様には無知なるが故の迷惑を沢山かけていたんだと、反省しています。労基署は外部との交流が少なく、情報交換もあまり無いように感じられます。労基署に行く機会が有りましたら現場の最新情報を伝えて下さい。

特別功労者表彰（全国大会関係）



能 上 崇

地 域 会 名 秋田中央建築士会
勤務先(名称) 秋田市企画財政部まちづくり戦略室
(住所) 秋田市山王一丁目1番1号
趣 味 読書、散歩

コ メ ン ト

全国大会あきた大会の準備についての表彰ということで、多くの会員の皆さまがご苦勞されたなか、個人として表彰されることに恐縮しております。特にPR映像の制作では、各地域会から美しい写真や映像を提供いただいたことが成果に繋がったものと思います。改めて、一緒に制作を進めてきた皆さまに感謝申し上げます。
早いもので、今年のあきた大会から1年が経ちますね。旅行に適した季節ですので、PR映像で取り上げた県内の名所を再訪してみるのも良いかもしれません。
このたびは、ありがとうございました。



草 薙 涉

地 域 会 名 仙北建築士会
勤務先(名称) 株式会社 長岐建築設計事務所
(住所) 秋田県大仙市大曲上栄町 13-60
趣 味 建築に関すること全て

コ メ ン ト

この度、昨年開催されました第64回建築士会全国大会あきた大会に於いて、特別功労者表彰をいただきました草薙です。大会では副実行委員長をはじめとし、数多くの役割を頂戴し、草木も眠る頃、夜な夜な泣きながら作業していたことを今でも鮮明に思い出されます…。とはいえ、楽しかったことの思い出の方が強く、一番の活力となったのは建築士会の仲間達の存在でした。未知なる規模の準備・運営に臨むにあたり不安でいっぱいでしたが、その仲間達がいたからこそ無理難題を乗り越えられ、数多くの成果をあげられたものと思います。本来であれば大会に関係した皆で頂きたかった表彰ではありますが、大人の事情により私が代表して有難く頂戴いたします。また、今回の経験を後世に引き継いで行くことがこの大会最後の役割と思っています。引き続きご助力いただけますようお願いいたします。



松 橋 雅 子

地 域 会 名 大館北秋田建築士会
勤務先(名称) M's 設計室
(住所) 秋田県北秋田市米代町 5-28
趣 味 旅行・スポーツ観戦

コ メ ン ト

昨年の全国大会あきた大会開催に貢献したことによる特別表彰を頂き、女性員会の皆様を代表して深く感謝をいたします。私自身、開催年に女性委員会委員長を務めさせていただいたお陰で、会場行事委員会・デザイン部会に関わらせていただき、青年委員会・女性委員会のメンバーたちと共に企画・提案・準備・おもてなしをさせていただきました。また、主催県の委員長として女性委員会セッションにてご挨拶もさせていただき、全国から参加された皆様から「あきた大会、凄い!」「来てよかった!」「感動した!」との声が寄せられ、こんなに嬉しかったことはありませんし、スタッフとしても楽しく笑顔の溢れる大会でした。この感動を次世代の建築士たちに伝えていこうと思います。



事務局長
植 田 一

事務局次長
伊 藤 加久子

地 域 会 名 秋田中央建築士会
勤務先(名称) (一財)秋田県建築住宅センター
(住所) 秋田市中通2-3-8 アトリオン5階

コ メ ン ト

この度は、あきた大会に関する特別功労者表彰を頂戴し、誠に恐縮しております。事務局として当然の業務を行ったことに多大なる評価を頂きました。実行委員会立ち上げから丸4年半の準備期間を経て、大会当日を迎えました。皆様をお迎えする秋田士会スタッフは約200名強、事前の担当会議は特に行いませんでした。建築士は日常業務において工事関係者間で連携を以って業務を推進する能力が身につけているとの判断でした。現場リーダーの元、各部門での業務はすこぶる円滑で、事務局の目論見通りだったことは皆様ご覧のとおりです。あらためて当会の「力」を感じたところです。これを機会に、益々の団結を持って建築士会を盛り上げていきましょう。ありがとうございました。

新入会員からのメッセージ



大館北秋田建築士会
小林 健

短大の住居環境科という学科で木造建築施工を中心に担当しています。現場で活躍されている建築士の皆さん、そして地域と学生が交流できる機会が増えればと思い、今年度から入会いたしました。建築士会から得た知識や経験を次の世代に伝え、今後の秋田、そして日本の建築界の発展に貢献できるよう尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



仙北建築士会
高橋 七海

この度入会させていただきました、高橋七海と申します。建築士会の活動や交流を通して、建築士としても知識や経験を増やして今後に活かし、貢献できるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



仙北建築士会
三輪 大樹

初めまして、三輪大樹（ミワダイキ）と申します。建築の世界に情熱を燃やし、これまでの経験を通じて、建築の重要性と可能性に深い関心を抱いております。そして、この度、秋田県建築士会への新入会員として、光栄に思っております。建築は私にとって、創造性と技術、そして社会への貢献が交差する素晴らしい領域です。これからも、高い専門性と倫理観を持ちながら、建築の品質向上と地域社会への貢献を追求してまいります。新しい仲間として、協力し合い、知識と経験を共有し、建築業界の発展に寄与していきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。誠にありがとうございます。

まちづくり委員会の活動について

(一社) 秋田県建築士会
まちづくり委員長 小 原 正 明

7月14日からの大雨で被災された皆様にお見舞い申し上げます。

連合会ホームページや各種委員会、全国大会セッションなどの場で「建築士会の災害対応」や「浸水被害住宅の技術対策」、「事前防災活動」等について、重要性を訴えかけられていながら、実践できたのは会員の皆様への情報提供に留まりました。住宅復旧に向け、被災者が最も求めているのは、住家の被害認定調査と罹災証明書の発行です。この分野に詳しい会員はいるものの、体制が整わず、業務に協力することができませんでした。被災地の行政職員が他の道県職員の協力を得て、総動員で不慣れな任務に当り、疲れた表情を見聞きするにつけ、こんな時に社会の役に立たなければと、いかに「事前の備え」が大事であることを痛感しているところです。

全国大会あきた大会セッションにおいて、13名の秋田県関係者の発表がありましたが、多くの会員には実行委員会での役割があり、22名の参加でありました。「あきた大会に関すること」「成果発表の支援」を5年度の事業計画に盛り込んでおり、「まちづくり賞」や「全国大会セッション」建築士会大会」「建築士会ニュース」等を通じて、日頃の活動の成果を皆様に伝えていきたいと思ひます。

まちづくり委員会の活動想定

(1) 【活動状況の見える化】 国等の制度や手引、連合会や全国建築士会のマニュアル、実践事例を当会内に紹介するとともに、各地域会や青年・女性委員会の活動を会全体で情報共有化する。



(2) 【全国大会発表・準備】 全国大会に向け、各分野や地域会等の活動状況を把握するとともに、セッション発表を見据え、重点分野を絞り、部会や地域会等が連携協力して取り組む。



(3) 【全国との関係構築】 全国大会の発表や運営を通じて、多くの会員が全国の活動状況を把握し、全国の会員とネットワークを構築する。(全国大会を秋田県で開催する意義、財産)



(4) 【まちづくり活動実践】 全国大会で得た知見等を活かし実践し、活動を活性化させる。



(5) 【継続実践、発表評価】 継続的に実践するとともに、毎年の「まちづくり会議」や「全国大会セッション」での成果発表、隔年の「まちづくり賞」での評価・表彰へ参画する。



(6) 【目標】 これらの過程を経た「まちづくり活動」を通じて、行政や県民への社会貢献を果たす。

まちづくり委員会の活動は、「全国大会あきた大会」を終えた現在、目標に向けて、4・5段階まで進捗しております。5段階の「継続実践、発表評価」として、今年度、「第12回まちづくり賞」に仙北支部から、「地域色を引き継ぐ—住宅リフォーム講座—」の活動事例を応募いただきました。10月の「全国大会しずおか大会」での発表会・公開選考会を大変楽しみにしております。

また、「全国大会しずおか大会」セッションで、まちづくり副委員長が事例発表するほか、「建築士会大会由利大会」では「全国大会あきた大会」セッション発表者が登壇する予定です。

当会のまちづくり・地域貢献についてはこれまで、各地域会や青年・女性委員会が独自に活動しております。組織として事業を立ち上げ活動するには、多くの労力を要します。会員の皆様には、常日頃の業務の中で、「景観」「防災」「歴史」「街中(空き家)」「福祉」「木」のまちづくりを意識して、取り組んでいただければと思います。その積み重ねが建築士としての「まちづくり」への貢献として現れ、それが拡がりを見せれば、建築士会として社会にアピールできる時期が到来することと思ひます。まずは、身近なところから実践していただ

れだと思います。会員の皆様とともにまちづくり活動・地域貢献活動の活性化に努めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

1 令和4年度の事業報告

- 6月10日 第1回まちづくり委員会（WEB会議）
 - 議題1. あきた大会における役割に関する情報共有について
 - 議題2. パネル展示内容のおよび役割分担について
 - 議題3. 令和4年度の事業計画について
- 6月30日 第1回東北ブロック会まちづくり委員会（WEB会議）
- 9月7日 東北ブロック会まちづくり委員会（にぎわい交流館AU、WEB併用）
- 2月9日 第2回東北ブロック会まちづくり委員会（仙台市）
- 3月10日 第31回まちづくり会議（～11日、東京都）
- 3月11日 令和4年度全国まちづくり委員長会議（東京都）
- 3月18日 第2回まちづくり委員会（WEB会議）

2 令和4年度第2回まちづくり委員会について

令和5年3月18日（土）10：00～12：00、WEB会議

◇議題

(1) 「第12回まちづくり賞」の応募について

- ア 「第12回まちづくり賞」への応募について（小原）
 - ・ 3月10日の連合会総務・企画委員会で、4月募集開始との報告があった。
 - ・ 「第11回まちづくり賞」に東北6士会のうち、当士会のみが応募していない。
 - ・ 3月末までに連合会ホームページのほか、「建築士4月号」に記事が掲載される。
→ 3月29日の第4回理事会での連合会総務・企画委員会資料配付のほか、各地域会や青年・女性委員会等への情報提供を当会事務局に依頼することとした。
- イ 「『住宅新築・リフォーム講座』による住まいまちづくり」の応募について
 - ・ まちづくり委員に応募対象の推薦を呼びかけたところ、複数の委員から、「住宅新築・リフォーム講座」の活動を推す意見があった。平成23年の東北ブロック大会地域実践活動報告会で最優秀になりながら、東日本大震災の影響で全国大会が中止になったため、全国での発表する機会を逸した事業。その後、当士会のプロジェクトとして、青年・女性委員会の協力を得ながら、大館・北秋田、秋田中央、横手と全県展開し、継続実施されている。この経緯については、「あきた建築士会ニュース」に記事掲載がある。（小原）
 - ・ 仙北建築士会から始まり、継続的に実施され、成果を上げている。何より有償で行っていることが良いところではないか。（鈴木）
 - ・ 大仙市の市民センターから仙北支部に、新築やリフォームしたい人に説明する講座開催の依頼があり、平成22年から6回程度のシリーズで開催しているものである。受講者のメリットとして、建築士会という公的立場の開催が安心感を与えているとの声があるほか、ベテランの先輩が講師を務めており、技術やノウハウの継承として、若手の勉強にもなっていることが士会内のメリットにもなっている。仙北は支部の事業であり、各地域会が任意に実施している事業。青年委員会が全県展開し、平成24年から5か年実施した。現在の状況は不明。（松塚）
→ 「雪対策や設備の選び方」等の「災害対策」や「環境配慮」のほか、リフォームによる「空き家対策」、「景観づくり」、「バリアフリー対策」にも及んでいる。木造や老朽建物事例も多く、「木」や「歴史」まちづくりとも関連がある。応募要項の視点に加え、「景観」「防災」「歴史」「街中（空き家）」「福祉」「木」のまちづくりの観点から整理し、応募を検討することとした。「あきた建築士会ニュース」等以外に手元に活動記録がないことから、当会事務局に依頼し、各地域会や青年・女性委員会から活動実績記録を収集することとした。青年委員会地域実践活動発表時の資料収集を松塚委員に依頼した。（小原）

(2) 令和5年度の事業計画および今後の活動について

- ア 第64回建築士会全国大会あきた大会に関すること

- ・あきた大会各セッションで13名の秋田県関係者が発表を行ったが、多くの会員に実行委員会での役割があり、22名のみの参加。発表を聞けず残念だった。(小原)
- ・あきた大会の歴史まちづくりセッションはWEB放映したが録画していない。とても良い内容だったので、ぜひ、士会の中で共有したい。(松塚)
- ・あきた大会で発表した方が女性委員会の学習会で話してくれる予定。まちづくり委員や青年委員にも一緒に聞いてもらえたらと思う。(周防)
- 事業計画に「建築士会全国大会あきた大会に関すること」を残すこととする。(小原)
- イ 各まちづくり活動および成果発表の支援
 - ・全国の活動事例や連合会・全国士会のマニュアル等を各地域会や委員会に、勉強会や紙面などで情報提供する試みを事業計画にあげても良いのでは。(小原)
 - ・そのような活動も良い。既存資料を利用しない手はないと思う。増田が来年、伝建地区指定10年となる。11月に式典や講演会が開催される予定。HM支援のほか、HM以外の会員にも情報提供することが考えられる。(鈴石)
 - ・秋田県内で、各地域で空き家対策に関する動きが見られる。(小原)
 - ・県内で相談会が実施された。空き家総合サポートセンター設立の話があったが、動きはない。空き家の固定資産税改正の予定で、各自治体で動きがある。能代市と藤里町、八峰町の空き家対策の委員をしており、今後、情報提供したい。(櫻庭)
 - 行政や各地域に空き家対策の動きがあり、士会も対応していかなければならない。歴史まちづくりに限らず、各まちづくり活動支援も必要になるので加えることとする。(小原)
- ウ 令和5年度の事業計画(案)
 - 3月29日の理事会資料に反映するよう、当会事務局に依頼することとした。
 1. まちづくりに関する諸会議、講演会、事業等の開催及び参画
 2. 歴史文化遺産活用推進員(HM)の活動支援
 - [追記] 3. 各まちづくり活動および成果発表の支援
 4. 第64回建築士会全国大会あきた大会に関すること

主なポイントは次のとおり。

- (1) 「各まちづくり活動の支援」
 - ・活動支援は歴史まちづくり(HM)に限らず、景観や防災、街中(空き家)、福祉、木のまちづくりなど、幅広い分野に及ぶことが想定されることから、事業計画に追記し、各分野でのアクションに対応することとした。
 - ・全国のまちづくり活動や連合会・全国士会発行の活動マニュアル等の紹介について、地域会・委員会等の「各まちづくり活動の支援」に包含することとした。
- (2) 「各まちづくり活動の成果発表の支援」
 - ・現在、4月募集開始の「第12回まちづくり賞」への応募を検討している。
 - ・今後、会員による毎年の全国大会まちづくりセッションでの発表および、隔年の「まちづくり賞」への応募を支援するため、事業計画に記載することとした。
- (3) 「第64回建築士会全国大会あきた大会に関すること」
 - ・あきた大会では13名の秋田県関係者が各セッションで講演や発表等を行った。
 - ・多くの会員には実行委員会での役割があり、講演等を聞けず残念との声がある。
 - ・女性委員会でも同様の動きがあるようだが、録画の紹介も含め、何らかの形で会に発表内容をお知らせすることを検討するため、この項目を残すものである。

◇報告事項

(1) 令和4年度第2回東北ブロック会まちづくり委員会の報告について

- ・令和5年2月9日、仙台市で開催された東北ブロック会まちづくり委員会に大高副委員長、松橋副委員長、周防委員、東北ブロック会として会長と事務局長が出席した。連合会活動部会体制は「建築士会活動部会地域リーダー一覧表」のとおり。(小原)
- ・あきた大会福祉まちづくりセッションの報告を行った。東北各県で会員が少なくなり、活動を担う人手不足で、青年・女性委員会との連携も必要と感じた。(周防委員)

(2) 令和4年度全国まちづくり委員長会議(第31回まちづくり会議)の報告について

- ・3月10日と11日午前、東京都で開催されたまちづくり会議に鈴石副委員長と小原、11日午後の全国まちづくり委員長会議に小原が出席した。(小原)

- ア 第31回まちづくり会議第1日目（3月10日 11:00～17:30）（鈴木）
- ・15時からの事例報告の前に、各自で、令和2年のまちづくり会議で取り上げられた「谷中」と、前回のまちづくり奨励賞を受賞した「千住」の街歩きを行った。
 - ・図、ポイントは2日前に示されたが、具体的な視察箇所、狙いがわかりにくかった。
 - ・谷中と千住で似たところと大分違うところがあった。
 - ・谷中は芸大に近い恵まれた環境で、歴史的町並みの保存や空き家の活用をどうやっていくのか、空き家アパートをリノベーションした活動報告があった。
 - ・千住は、駅から離れ、葉脈のような幅員4mを切る道路に面して空き家がいっぱいあり、コミュニケーションの場として使える複合施設を作った活動の報告があった。足立区と一緒にファンドを立ち上げて活動している。
 - ・そのまま、秋田のような地方都市には持って来ることができる状況ではないが、大変、ヒントが詰まっております、秋田であれば千住の方式が参考になると思う。
- イ 第31回まちづくり会議第2日目（3月11日 9:00～12:00）
- ・事例発表を聞いて、各まちづくり部会で、「歴史的環境の保存・活用と防災の両立をめざす建築士のまちづくり」をテーマにワークショップを行った。建築士として、町内会等のコミュニティとどのように関わるかが一番大事で課題と感じた。（鈴木）
- 主催者挨拶 連合会会長 近角真一（9:05～9:20）（小原）
- ・「歴史的環境の保存・活用と防災の両立をめざす建築士のまちづくり」をテーマに挨拶があった。まちづくり委員会は各部会ごとにテーマを掲げて活動しているが、領域が重なる部分もあり、フィールドを定めて、複数の部会が参画して活動実践することが重要との提言があった。
- 開催地建築士会会長挨拶東京建築士会会長古谷誠章（9:20～9:30）（小原）
- 「まちづくりの課題」・まちをつくるのは、そこに住む人々だけど、人がいない
- ・居るけど、交流がない
 - ・交流はあるけど、世代間を超えていない
- 豊永信博景観まちづくり部会長（小原）
- ・部会ごとではなく、同じフィールドを共同して取り組むことが大事
- ウ 令和4年度全国まちづくり委員長会議（3月11日 13:00～15:00）（小原）
- ・委員長会議に議事や事務的連絡はなく、各ブロックからの報告のみであった。
- 全国ブロックからの活動報告（13:15～14:00）
- ・東北ブロック会が高橋委員長が「各県の話の逸品」と称して報告を行った。
 - ・先の東北ブロック会まちづくり委員会で近角連合会長から、時代は脱炭素に向けて動き始めている中で、当委員会には「環境」というカテゴリがないが、どの部会も関連があり、部会を超えて繋がる問題が沢山あるはずとの提言があった。
 - ・これを受けて、秋田県からは、「洋上風力発電開始」を話題提供した。1月31日に秋田港で風車13基が商業運転開始した。風力発電関係者のビジネス利用等によりホテル需要が高まりを見せ、ホテル開業に関する報道があった。
 - ・来年度、全国大会が開催される静岡県士会は活動を活発化させ、既に「歴史・防災まちづくりフォーラム」開催し、「静岡県の建築と町並み」を出版予定。

(3) 第64回全国大会あきた大会の報告について

- ・部会ごとの熱量に違いがあり、セッションに表れたと感じた。ライブのWEB会議ではなく、プロの手で記録を取ってアーカイブとして残し、会員に広く知らしめる方策を考えることが重要。秋田士会会員が良く働いたことが誇りと思って良い。（鈴木）
- ・あきた大会は幸運にも、開催時の新型コロナ新規感染者が少なかったが、流行の山がずれていれば、オンラインに頼らざるを得なかった。記念対談や大交流会、交流見学会、受入は地元。式典とセッションは連合会が所管。全国のまちづくり委員の現地乗込みが前日と開催直前であり、準備時間も少ない。ZOOMか録画か、もっと早く情報提供してもらえればと感じた。（小原）

(4) 令和4年度の事業報告について

- ・文化財防災センター、日本建築家協会、日本建築学会、土木学会と「災害時における歴史的建造物の被災調査および技術支援等に関する協力協定」を締結したことを受け、今月末までには、ヘリテージマネージャーネットワーク協議会運営委員長名で各県の建築士会に、各県の災害時の調査及び復旧支援の対応に関する依頼が出される予定。災害発生時に、各ブロック内で被災地を応援できる体制を事前に構築できるよう、建築士会に窓口を作りたいという内容。九州では体制ができており、熊本地震の際には福岡に

集まり熊本に派遣した。(鈴石)

- ・山形県のHM誕生により、東北6県にHMがいるようになったことから、東北ブロックで代表者を決め、持ち回りで会議を開催しようという動きがある。(鈴石)
- ・歴史まちづくり部会としての活動は特になく、ヘリテージマネージャーネットワーク協議会が動いている。全県3地区に組織ができることで、全県的に一体的な活動や情報の共有がなされることを楽しみにしている。HMになっていない会員に情報提供することが歴史まち部会の仕事であり、その方法が課題となっている。(松塚)
- ・部会ごとの全国の情報は、メルマガ等で各委員に届いているのか、知りたい。(松塚)
木のまちは部会長から大高委員にメールが届き、転送があった。(小原)
景観まちは全国大会がらみ以外ないが、先日、全国まち会議の報告があった。(鈴石)
街中(空き家)まちは全国大会がらみ以外、一切ない。(櫻庭)
福まちにはメーリングリストがあり、流れてくるのでありがたい。(周防)
災害対策委員会からは頻りに連絡がくるが、防災まちからは全国に来ない。(佐々木)
歴史まちは連絡が来ないので、皆さんに提供できる情報はない。今後の課題。(松塚)
- ・秋田県バリアフリー社会形成審議会に女性委員会の推薦で出席している。「秋田県バリアフリー推進賞」を選定しており、まもなく公表の予定。士会員も受賞。(周防)

(5) 性的少数者対応トイレのピクト表示について(小原)

- ・2月22日付け秋田魁新聞に、県内で公共トイレの表示を見直す動きを紹介する記事が掲載され、委員に情報提供した。大高副委員長や松塚委員から反応があった。
- ・各方面から反響があり、3月12日付け新聞に、虹色の人型のピクトグラムの使用に否定的意見があることが掲載された。
- ・建築士としては、国土交通省バリアフリー設計標準やJISが多様性に配慮し、適宜、改正を行っており、これに基づき設置することを確認した。

3 令和5年度の事業および今後の活動予定について

7月1日(土)第12回まちづくり賞への応募(仙北支部)

[事例の名称] まちづくり事例の名称 地域色を引き継ぐー住宅新築リフォーム講座ー

- [活動の目的]
- ・市民(これから家づくりをしたいと思っている人)に、「住まいづくり」に関する知識・ポイントをまんべんなく持って頂く機会の提供
 - ・住まう人・家族により幸せになってもらうために、地域の気候風土や家族関係、将来について、物質面だけでなく「家」を改めて考えて頂く機会の提供
 - ・地域ごとに培ってきた設計や施工の知恵・技術について、建築士会内での先輩から若手への継承の機会を創出

[推薦の理由] 本活動は建築士(会)が地域の生涯学習活動施設と協働し、13年前から実施している住まいづくり講座です。若手が基本的な事項、ベテランが地域の知恵や技術等を担っており、継続的な実施は住まいに留まらず、市民が暮らすまちへの「地域色の継承」、それを育てる「次代の建築士の養成」に成果を上げていることから本賞に推薦するものです。

9月13日(水)令和5年度第1回まちづくり委員会(あきた芸術劇場ミルハス)

1 災害対応について

- (1) 7月15日の大雨による被災状況と復旧状況に関する報告(各委員)
- (2) 8月10日「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」説明会(小原)
- (3) 連合会災害対策委員会等の情報について(佐々木委員)

2 第12回まちづくり賞の応募について(松塚委員、小原)

3 9月30日の秋田県建築士会由利大会について

- (1) 大会概要と参加予定について(事務局、各委員)
- (2) セッション発表について(セッション発表委員)

4 全国大会「しずおか大会」の概要と参加予定について(事務局、各委員)

5 令和5年度の事業について(各委員)

9月18日(月)「ぼうさいこくたい」および「第2回災害対策委員会」

佐々木昭仁副委員長が、連合会災害対策委員として出席予定

9月30日(土) 第45回(一社)秋田県建築士会大会 由利大会(由利本荘市安楽温泉)
 [建築フォーラム「第64回建築士会全国大会あきた大会」各セッション発表]
 防災まちづくり委員会・・・佐々木昭仁氏(副委員長、防災まちづくり部会地域リーダー)
 歴史まちづくり委員会・・・鈴木博実氏(副委員長、景観まちづくり部会地域リーダー)
 女性委員会・・・・・・・・松橋雅子氏(副委員長、福祉まちづくり部会地域リーダー)
 10月26日(木) 第12回まちづくり賞発表会&公開選考会(静岡市中島屋グランドホテル)
 第一次選考を通過した場合、仙北支部がまちづくり活動を発表予定(松塚智宏副委員長ほか)
 10月26日(木) 第10回 全国ヘリテージマネージャー大会
 鈴木博実副委員長が、あきたヘリテージマネージャー協議会会長として出席予定
 10月27日(金) 第65回 建築士会全国大会「しずおか大会」(静岡市グランシップ)
 防災まちづくりセッション・・・佐々木昭仁副委員長が出席し、発表予定
 「秋田県の風水害の被害状況と課題について」
 課題に、秋田市街地における都市型内水氾濫と河川の増水による洪水や山間部における河川改修のなどを掲げ、秋田県建築士会として今回の災害を契機と捉え、会員の安全安心を第一に、さらに「相談体制」を強化し、県内建築士会でカバーし合うものとしたことを発表する予定。

青年委員会

令和5年度「建築士の日」記念事業・親子体験学習

秋田県建築士会 青年委員長 熊谷昌剛
 秋田中央建築士会 能上崇

令和5年6月24日(土)、秋田市拠点センターアルヴェにおいて「建築士の日」記念事業を開催しました。
 秋田中央建築士会では、これまでも「建築士の日」の事業として建築士による相談会やパネル展などを行ってきましたが、令和4年度に開催した全国大会あきた大会の準備活動を優先するため、ここ数年は開催を見送ってまいりました。
 久しぶりの開催となる今年度は、県内の建築士会会員が一体となって取り組んだ全国大会あきた大会のアフターイベントとして、多くの会員が研鑽・交流できる場となるよう、記念講演や建築相談会、ボーリング大会のほか、青年委員会の事業である「親子体験学習」を実施しました。

10:00～11:30 <親子体験学習「目視で測ってみよう」>
 主催 秋田県建築士会青年委員会(担当地域会 秋田中央)

今年の親子体験学習事業は、メジャー等を使用しないで、目視による測定の正確さを競うゲームを行いました。

はじめに「親子参加部門」では、10メートル×5メートルなど、事務局が指定する長さを感じただけで床にマークしてもらい、その後、事務局がメジャーで測定し、誤算を計算するという流れで進めました。13組が参加した結果、優勝グループは「7,320mm×2,440mm」という



親子体験学習

11人制サッカーのゴールサイズを示すという課題に対し、「7,360mm×2,850mm」の解答、その誤差わずか450mmといった建築士顔負けの正確さでありました。

また、同時開催した「オープン部門」は、一般の方だけではなく建築士会会員も参加可能な種目として、会場のアルヴェ2階多目的ホールのタテ、ヨコ、高さを目視だけで解答する課題としました。レーザー測定器で測った正解値「23,920mm×17,408mm×6,990mm」に対し、優勝者は、鹿角建築士会の安保尊さん(誤差計388mm)でした。建築士の面目躍如といったところでしょうか。

今回のゲームは初めての試みでありましたが、参加してくれた子どもたちが楽しそうでしたので、及第点だったかなと思っています。

なお、親子参加部門の成績優秀者には、副賞としてコンベックスや小さな水平器を差し上げたほか、全員に参加賞として図書カードをお渡ししました。

13:30～14:30 <記念講演>

演題 令和7年4月(予定)からの木造住宅の建築確認手続き等の見直しについて

講師 秋田県建設部建築住宅課 建築指導チーム チームリーダー 鈴木健亮氏

午後には、秋田県建築住宅課の鈴木健亮氏を講師に迎え、「建築士の日」記念事業のメインである講演会を行いました。建築基準法の改正の概要を中心とした講演であり、特に確認申請における4号特例の改正に関する部分は、業務に直接関係することから、多くの方が熱心に受講していました。



記念講演 講師 鈴木健亮氏

15:30～19:30 <ボウリング大会・懇親会>

ボウリング大会 秋田市広面 ロックンボウル

懇親会 秋田市中通 パーティーギャラリー イヤタカ

講演会後、秋田市広面のロックンボウルに会場を移しボウリング大会を、その後、表彰式を兼ねた懇親会を秋田市中通のイヤタカで行いました。

2ゲームの合計で競うボウリング大会では、地域会単位によるチーム対抗戦と個人戦を行ったのですが、さすが昔取った杵柄。チーム戦は、大館北秋田建築士会が優勝。個人戦は、大館北秋田建築士会の石川成さんが優勝という結果となりました。さぞかし、懇親会ではお酒がおいしかったことと思います。

昨年開催した全国大会あきた大会で県内会員相互の交流が深まったことを受け、今後も継続した交流ができるようにと企画したボウリング大会でしたが、大変な盛り上がりを見せたことから、当初の目的は達成されたものと思います。今後も、第2回、第3回と継続して開催されることを祈念しております。



記念講演

チーム対抗戦 成績

第1位	大館北秋田建築士会	アベレージ	127.000
第2位	湯沢雄勝建築士会	アベレージ	120.375
第3位	秋田中央C建築士会	アベレージ	120.250

個人対抗 成績

第1位	石川 成	2ゲーム合計	313
第2位	北村公晴	2ゲーム合計	290
第3位	能上 崇	2ゲーム合計	288



ボウリング表彰式

<最後に、偉大なマジシャンに謝辞を>

午後の記念講演に先立ち、恒例(高齢?)のミスター北さんによるマジックショーが開催され、イベントに華を添えていただきました。

拠点センターアルヴェ2階多目的ホール前のオープンスペースでのショーは、通行する方々が足を止めて見入るなど、いつも以上の盛り上がりであったことを申し添え、令和5年度「建築士の日」記念事業の活動報告といたします。



マジックショー

女性委員会

令和5年度 第32回全国女性建築士連絡協議会(石川)に参加して その1

由利建築士会 周防 敦子

7月29日(土)30日(日)石川県金沢市にて「第32回全国女性建築士連絡協議会」が開催され、参加してまいりました。

一日目、全体会の基調講演は金沢学院大学名誉教授の大場吉美氏による「石川らしい文化でおもてなし北陸新幹線金沢駅舎は伝統工芸による「美術館のような金沢駅」」をテーマにご講演頂きました。

金沢駅は2011年アメリカの旅行雑誌で「世界で最も美しい駅14選」で6位に選ばれた駅。アルミとガラスで構成された巨大なドームと木製の「鼓門」が印象的です。そして駅の構内では工芸品を鑑賞できます。駅構内にちりばめられ工芸品は先陣からの技術・美術の継承で石川らしさを形成し、石川らしさは古き良き日本につながる。その部分に外国の人が魅力を感じるのではと感じました。

また、東北ブロックから被災地報告がありました。復興支援道路をドラレコの映像にて復興の状況を青森・岩手・宮城・福島とリレーしながらの説明。2011年の東日本大震災から12年たちました。きれいな道路・新しい施設が整備された映像が続きますが、地震から時が止った場所の映像は心苦しくなりました。いつまでも、震災を忘れず、後世に記憶を受け継がなくてはならないと再認識させられました。

二日目の分科会「住まい・まちづくりを考えよう」～小中学生に住教育出前講座～に参加。大阪府建築士会会員であり大阪府住まい・まちづくり普及協議会の竹田敦子さんの軽快なお話はとても魅力的。出前講座の内容も住まい・バリアフリー・防災・まちづくり・先生に向けた講座と多彩な講座。サーモグラフィーを使用し、室内環境を実際に見られようにする授業は子供に人気があるようです。このような授業は子供達も飽きずに話を聞いていられるのかなと感じました。今回の参加者も子供向けに講座を開催している方ばかりで質問の時間では大盛り上がり。みなさんのお話はとても勉強になりました。

金沢の地では、先人から引き継がれている文化・技術が石川らしさを形成し人々を引きつける。秋田のこの地でも秋田にしかない素晴らしい物はたくさんあります。その素晴らしい物に光をあて、多くの人に訪れてもらいたいと思います。



金沢駅「鼓門」



淡路会長と金沢秋田組



分科会

令和5年度 第32回全国女性建築士連絡協議会(石川)に参加して その2

鹿角建築士会 石木田 麻梨子

最近全国各地で地震発生・地球温暖化によると思われる異常気象で各地に豪雨災害や河川の増水、氾濫被害が絶えず報じられる今、伝統工芸と建築の深い関係を「守り・育て・受け継がれる技術、手仕事」を、テーマとして北陸の城下町石川県金沢市で開催され、そこで多くの方々の体験談や日々の活動報告を聴いて、又、参加者との意見交換する中で多くの収穫を得ることが出来ました。

里帰りの時はいつも通過する金沢駅も今回は自分の目で見ると、日本一美しいと云われている金沢駅には美術館を思わせる伝統工芸の数々がそこかしこに組み込まれ、石川らしい文化でのおもてなしがちりばめているのであった。今大会に於いて日々感じているこれら匠の技や伝統工法・伝統工芸の数々が、これからきちんと継承されるためにも、次世代の人々にその良さと利点を五感で受けとめて、それらの良さがこれからも大切な人々の感性として享受され続けるためにも、多くの人と共に今回の大会でグローバルな価値観として受け止められたと思う。それゆえ、尚一層和の空間・日本人の気候と風土と共に生きている感性の表現が、ここ金沢の地で確かめられ評価されたと思う。

又、最近全国で発生している地震や津波対策に全国で最も進んでいる静岡県の「TOUKAI-0」の施策が発表された。ここでは専門建築士による被災建物診断の所有者の費用負担が、無料で静岡県耐震診断補強相談士による耐震診断のほか、耐震補強等の相談を行い診断結果後は、所有者が安心してその後の耐震補強工事



近角会長挨拶

が行える様に様々な補助制度について今後の手続きetc.耐震化がスムーズに行えるようにしている。今回の事例発表は、多くの未だ取組まれていない地域にも大いに参考になったと思われる。

又、今回の分科会では、「灯台が照らし出す未来への道すじ」というF分科会に参加した。歴史的伝統建築物の中で海の安全を守る灯台にスポットを当てた取り組みであり、日本列島が海で四方を囲まれ古くから海とつながる往来の中で、道しるべとして安全な航海を守る灯台の役割は無くしてはならないものでもあった。その灯台の存在は海での安全を守るだけでなく、地域の核としてまちづくりにも大いに役立つ可能性があるという視点での発表に強く賛同し、自分達の住んでいる地域づくりに何が大切で、これからも人々と共にどう取り組んでゆくのがいいのかの示唆を与えてくれた。地域に未だ眠っている歴史的公共財産の発掘に良いヒントを頂いた。

人口減少が進む日本各地に於いて、これからも今大会で得た様々な人々の営みと活動を参考に仲間と共に考え進んでゆきたいと思う。女性建築士連絡協議会に今年も参加して多くの学びや気付きがありました。



TOUKAI - 0 木耐震の取り組み

令和4年度 第2回女性委員会学習会 「あきた大会・式典視聴と意見交換会」に参加して

仙北建築士会 小野地 紀子

令和5年2月11日の学習会であきた大会の全容と開催までの裏話を、伊藤加久子さんからスライドを交えて楽しく聞かせて頂きました。淡路会長と草薙青年委員長も出席してくださり、大会成功と一緒に喜びました。4ヶ月前の大会で見られなかった部分を見せていただいて、準備段階から頑張っておられた会員の皆様への感謝とともに、新たな感動と大会に参加できた事を嬉しく思いました。

当日私が担当した「表彰者受付」では、担当外の会員からも協力していただき、大きなアクシデントもなく終了することができました。

今大会で表彰された沖縄の方は、民族衣裳で参加されていて思わず「素敵ですね。とても綺麗です。」と話しかけたら、笑顔と一緒に「ちんすこう」を頂き、心温まるふれあいがありました。また受付前では、コロナ禍で開催出来なかった年に表彰を受けた方が、「表彰者受付」の掲示物を前に自撮りしていたりして、大会式典での表彰が無かったことを残念に思っている様子でした。



懇親会

翌日のエクスカッションも各コースでの様子も見ていただいたので、普段あまり行く機会のない県北方面に今度は是非訪れてみたいと思いました。

学習会終了後の新年会は、参加者多数で大会大成功の感動のまま楽しく親睦を深めることができました。あきた大会を振り返ると共に、今後も自分のできる範囲で建築士会の活動に参加して楽しんで行こうと気持ちを新たに学習会でした。



学習会の様子

令和5年度 第1回女性委員会学習会 「あきた大会セッションに学ぶ・意見交換会」に参加して

湯沢雄勝建築士会 佐藤 全子

「大館市の歴史まちづくり～官民協働で物語をつくる」安達真由美さんの発表を聞いて

大館市が、四方を異なる文化圏に囲まれ、幾度も大火の被害にあうといった、どちらかと言ったら不利な条件のもとにも関わらず、良く頑張ったなあというのが率直な感想です。

平成29年に市が歴史的風致維持向上計画に認定されるや、大館・北秋田建築士会は市長にヘリテージマネージャーの要請を呼びかけ、官民一体となって歴史的建造物の調査や文化財保護、耐震改修工事等行なってきた実績は、本当に快挙で、成功例と言ってもよいと思います。このことがきっかけで、一般市民も歴史的建造物の保存や、まちづくりに興味を持ってきているというのですから、いかにプロの建築士が、地域のすばらしさを市民に分かりやすく伝えてきたか。政治と個人の集まりである建築士が結びついたことが、良いマッチングでしたと安達さんが話しておられたのが印象的でした。

戸嶋真紀子さんの「建築士が実践するSDGs」は、まさに今2025年4月（予定）全ての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合の義務付け、2030年までにより高い水準の省エネ性能を目指すことが求められており、省エネ基準の引き上げも予定されており、脱炭素建築、高断熱、高气密住宅が大前提となるような風潮です。

私の職場でもお客様から、ua値、C値はいくつですか？などと電話が来るようになって、住宅を数値で判断させる手法が今や当たり前になってきているのか？と驚きを隠せません。戸嶋さんが、省エネ一辺倒の評価によらず、市域、風土、景観、暮らし方、文化、住まい手の身体性から住宅を総合的にとらえたいとお話されていましたが、その通りだと思います。

地産地消の住宅づくりも、地域の木や土を活用することにより、もっと建築士も住まい手も一歩地元、地域に関心を持つことにより、経済や建築からゴール15の陸の豊かさも追及できるということを知りました。性能数値を追求することは、もちろん私もしているし、より良い光熱費の軽減や脱炭素にもつながり地球温暖化にも緑化にも役立つのですが、SDGsの視点は、利己的でない社会とか地域とか貧困にも関わっていくバランスのとれた全体を見る力を養うことこそ重要だと考えさせられました。



学習会の様子



学習会発表 安達さん



学習会発表 戸嶋さん

令和5年度 親子体験学習「気持ちのいい家つくろうin能代」に参加して その1

能代山本建築士会 池田 佐保

（一社）秋田県建築士会女性委員会の事業として、令和5年6月3日に、親子体験学習「気持ちのいい家つくろうin能代」を開催いたしました。平成18年より県南の横手市から実施し、秋田中央、大館北秋田、仙北、湯沢雄勝、鹿角、由利本荘、横手と県内を順番にまわり、今回で16回目となります。コロナ禍と建築士会全国大会があり4年ぶりの開催になりました。能代山本地区での開催は今回が初めてです。能代山本の女性会員は私一人の為、会場の手配・材料確認準備・子供たちへのお土産とティータイム等の準備が分からない点が多いながらも、経験豊富な女性委員のメンバーに助言をしてもらいながら、なんとか準備をすることが出来ました。

当日は能代山本の親会と青年部6名に参加してもらい、会場設営と運営の手伝いをさせていただきました。各地域の女性会員と青年会員合わせて18名の総勢25名で、親子体験学習に参加する皆さんを迎えることが出来ました。まずは人手がないと成り立たないイベントなので、会員の皆さんに参加・協力していただき本当に有難かったです。

参加人数は9家族で子供は12名。親子合わせて19名の参加で、個性あふれるお家を事前を書いてきてもらい、建築士がアシスタントをし、作品の完成に向けて子供たちと一緒に考え・材料を選び、建築士がアドバイスをしながらのやりとりの繰り返しで、「自分にとっての気持ちのいい家」を、作り上げていきました。



作業風景

最後に子供達から完成した作品の紹介と感想を発表してもらいました。どんな家を作りたいかったか、工夫したところ、難しかったところ、作ってみての感想を、しっかり話してくれました。どの子も「楽しかった」という感想をいただきとても嬉しく思いました。

ひとつの物を作りながら形にすることによって、子供たちの自由な発想と想像力をのばし、親と子のつながりを再確認していただき、今回の体験を通してものづくり（建築の楽しさ）の楽しさを体感していただくきっかけとなったのではと思います。

ご参加いただいた方々、またお手伝いいただいた会員の方々、ありがとうございました。

楽しいイベントになりホッとしております。



発表の様子



集合写真

令和5年度 親子体験学習「気持ちのいい家つくろうin能代」に参加して その2

秋田中央建築士会 須藤 亜紀

5月の中央支部総会に始まり、女性委員会、学習会、親子体験学習、ボウリング大会、全建女石川大会と、今年度の行事にはできる限り参加をしてまいりましたが、中でも一番縁がなく正直なところあまり関心もなかったのが親子体験学習でした。

一応予習はしていこうと過去の活動報告を見てみたものの、実は具体的な作業手順などの記述はあまりなくて、写真からは「段ボールのようなもので家らしきものを造るらしい」としかわかりませんでした。基本的には参加者である小学生以下の子供が考えてきた『気持ちのいい家』を、用意した材料を使って造る手伝いをすれば良い、という事だったので、出たところ勝負と開き直っての参加でした。

行ってみれば能代山本建築士会と女性委員会・青年部有志総勢30名近い大人数で、参加親子は9組。会場に到着した時には北秋支部の皆さんの尽力で下準備はほとんど終了した状態でしたので、恐縮しながらも着いて早々お弁当タイム。女性委員会メンバーとの交流を深めながら、これまでのお話を聞いたりしていました。

会場では床を傷つけないように各組のスペースごとに養生を行い、壁際には段ボールの他に壁紙や木材、アクリル板、装飾用のひもやキラキラした何かが並び、カッターや接着剤、色とりどりのマーカーやクレヨン等の道具類も、年季が入ったものが豊富に揃っていて、材料を集めたり道具を足したりという、これまでの苦労や歴史を感じました。

実際の作業では、初心者サービスということで、お母さんが同じ建築士会女性委員で以前にも参加したことがあるという親子を担当させていただきました。女の子2人はまだ小さかったため、自分の手で造るというよりは、イメージと遊び方を何とか説明し、お母さんと我々を使って作らせている感じでした。てっきりぬいぐるみとかを使って遊ぶ家だと思っていたら、自分が入るというので、完成品は思っていたよりだいぶ大きなものでした。

一息ついて周りを見渡すと、お子さんがやる気なさそうなチームは大人たちが一生懸命作業していて、兄弟で参加しているところは競い合っていたり、我関せずもくもくと作業に集中していたりなど、千差万別といった感じが面白かったです。

最後のプレゼンテーションでは、高学年の参加者などが未来の建築家風情を匂わせていたりして、こうやってバトンをつないでいくのかな、と思わせられました。

汗だくで足腰にはきつい経験でしたが、また参加してみてもいいかなと思った1日でした。



作業風景

会務報告

(令和5年1月～7月)

- 1月 4日 ●男鹿市 2023年 賀詞交換会 淡路会長 出席
於：男鹿市民文化会館 小ホール
- 12日 ●第64回建築士会全国大会あきた大会記念誌 第1回編集会議 (ZOOM) 淡路会長、植田局長、伊藤次長
- 14日 ●令和4年度 ヘリテージマネージャースキルアップ講座
於：増田町重伝地区
- 19日 ●(公社)日本建築士会連合会第54回定例理事会
於：建築会館ホール
- 27日 ●横手建築士会 新年会 淡路会長 出席 於：ゆうゆうプラザ
- 2月 3日 ●仙北建築士会 新年会 淡路会長 出席 於：大曲プラザたつみ
- 4日 ●大館北秋田建築士会 新年会 淡路会長 出席 於：プラザ 杉の子
- 6日 ●(公社)日本建築士会連合会 全国職員会議
於：建築会館ホール
- 9日 ●令和4年度 第2回まちづくり委員会 淡路会長、植田局長 出席
於：宮城県建設業国民健康保険組合会館
- 9日 ●第51回秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクール 審査会 草薙青年委員長 出席
於：アルヴェ
- 11日 ●第51回秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクール 表彰式 淡路会長 出席
於：アルヴェ
- 22日 ●「秋田県空き家リノベーションデザインコンテスト」審査委員会
- 淡路会長 出席 於：秋田アトリオンビル 地下1階
- 24日 ●(仮称)東北地方建設キャリアアップシステム処遇改善推進委員会 (WEB会議) 小田島専務理事 出席
- 3月 1日 ●建築士会東北ブロック会第3回会長会議
於：秋田キャッスルホテル
- 4日 ●令和4年度 全国青年委員長会議
於：東京ビックサイト703会議室
- 7日 ●一級・二級・木造建築士定期講習会 (DVD) 受講者36名
於：秋田テルサ



- 10日 ●令和4年度 全国まちづくり委員長会議 (第31回まちづくり会議)
於：御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター ルームC
- 11日 ●令和4年度 全国まちづくり委員長会議 (第31回まちづくり会議)
於：日本建築学会 建築会館ホール
- 20日 ●「志フォーラム2023」淡路会長 出席
於：秋田キャッスルホテル
- 24日 ●(一財)秋田県建築住宅センター 評議員会 淡路会長 出席
於：アトリオンビル

- 25日 ●第12回 東北ブロック青年大会 福島大会 × 第37回 福島県建築士会 青年の集い 淡路会長 出席
於：コラッセふくしま 4F 多目的ホール
- 29日 ●令和4年度 第4回 理事会
於：イヤタカ 2F ポストンルーム
- 5月 9日 ●能代山本建築士会 通常総会 淡路会長 出席 於：プラザ都
- 10日 ●(一社) 秋田県設備設計事務所協会 通常社員総会 懇親会 淡路会長 出席
於：ホテルメトロポリタン秋田
- 19日 ●令和5年度 会計監査
於：アキタパークホテル
- 19日 ●大館北秋田建築士会 通常総会 淡路会長 出席
於：プラザ杉の子
- 25日 ●湯沢雄勝建築士会 通常総会並びに懇親会 淡路会長 出席
於：湯沢ロイヤルホテル
- 26日 ●(一社) 秋田県建築士事務所協会 定時総会懇親会 淡路会長 出席
於：ANAクラウンプラザホテル 秋田
- 29日 ●秋田県建設技能組合連合会 定期大会懇親会 淡路会長 出席
於：ホテルメトロポリタン秋田
- 30日 ●令和5年度 第1回 理事会
於：イヤタカ 2F ポストンルーム
- 6月 2日 ●仙北建築士会 通常総会及び懇親会 淡路会長 出席
於：フォーシーズン
- 4日 ●由利建築士会 通常総会 淡路会長 出席
於：安楽温泉
- 9日 ●鹿角建築士会 通常総会並びに懇親会 淡路会長 出席
於：ホテル茅笥荘
- 15日 ●(一財) 秋田県建築住宅センター 評議員会 淡路会長 出席
於：アトリオンビル
- 20日 ●令和5年度 建築士登録機関等連絡協議会 総会 淡路会長 出席
於：(東京) 建築会館ホール
- 23日 ●秋田県建築物定期報告調査・検査協会 通常総会 懇親会 淡路会長 出席
於：パーティーギャラリーイヤタカ
- 29日 ●令和5年度 定時会員総会・式典・祝賀会
於：秋田キャッスルホテル
- 7月 2日 ●令和5年 二級建築士「学科の試験」実施 受験者111名
於：秋田県JAビル
- 23日 ●令和5年 一級・木造建築士「学科の試験」実施 受験者：一級110名、木造0名
於：秋田県JAビル
- 26日 ●建築士定期講習 受講者50名
於：秋田テルサ



- 28日 ●連合会 建築士登録 意見交換会 植田事務局長 出席
於：仙台市

令和5年1月～7月

地域会だより

○鹿角建築士会

- 1月30日 令和4年度 第3回理事会
(於 ホテル茅茹荘)
1. 収支中間報告ほか
 2. 職業体験学習の講師派遣依頼について
 3. その他
懇親会
- 2月8日 十和田小学校職業体験学習・講師派遣
(5名)
- 3月3日 技術講習会開催 (於 ホテル茅茹荘)
演題「省エネ国策対応について」
講師 株式会社LIXIL 中島光一氏
懇親会



- 4月20日 令和4年度会計監査 (於 事務局)
- 4月28日 令和5年度 第1回理事会
(於 鹿角市交流センター)
1. 鹿角建築士会通常総会について
 2. 秋田県建築士会永年功労表彰の推薦者等について
 3. その他
- 6月9日 令和5年度 第2回理事会
(於 ホテル茅茹荘)
1. 総会の進行等の確認
 2. 全国大会(しずおか大会)について
 3. その他

令和5年度通常総会(於 ホテル茅茹荘)

1. 令和4年度事業報告及び収支決算承認の件
2. 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
3. 任期満了に伴う役員改選の件

○大館・北秋田建築士会

- 1月14日 平成4年度ヘリテージマネージャースキルアップ講座
1. 増田町まちなみ研究会会長挨拶
(於 横手市増田町重伝建地区 参加3名)
 2. 令和3年度増田重伝建地区修理修景事業視察
 3. 旧松浦千代松家火災報知機設置説明会
 4. 近年の文化財防災の実例について
 5. 令和4年度大館歴史的建造物研究会の活動報告
 6. 質問及び意見交換
- 講座終了後 懇親会
- 1月19日 第8回大館歴史的建造物研究会
(於 中央公民館 出席8名)
1. 地域別歴史的建造物調査の再チェック
 2. 「東大館駅舎」の報告書について協議
 3. 「旧木材会館(白井晟一の設計リストから外されている建物)」についての報告
- 1月28日 青年委員会
第9回全国風穴サミットin大館
(於 大館市北コミュニティセンター 出席3名)
- ・第9回全国風穴サミットin大館参加
 - ・長走風穴2号倉庫、3号倉庫の調査内

- 容発表
- 2月4日 新年会
 全国大会あきた大会の報告及び新年会
 (於 プラザ杉の子 参加34名)
 第一部 ビデオ・スライド上映
 担 当 鳥潟宏一
 第二部 歴史まちづくりセッション発表
 担 当 安達真由美
 大館市長挨拶 大館市長 福原淳嗣
 報告会終了後 新年会
- 2月10日 第9回大館歴史的建造物研究会
 (於 中央公民館 出席8名)
 1. 「東大館駅舎」の活用方法について
 2. 「旧大館市庁舎 螺旋階段」の報告書について協議
- 3月2日 第10回大館歴史的建造物研究会
 (於 中央公民館 出席7名)
 1. 「地域別歴史的建造物調査」「東大館駅舎」「旧大館市庁舎 螺旋階段」の各報告書の最終チェック
 2. 来年度の活動について協議
- 3月25日 青年委員会
 第12回東北ブロック青年大会～福島大会～
 (於 コラッセ福島 出席8名)
 ・式典、フォーラム(現地とZoomのハイブリット開催) 現地、web参加
- 4月11日 三役会(於 事務局 出席5名)
 新年度理事会について
- 4月14日 青年委員会
 第1回青年委員会
 (於 大館市中央公民館 出席者5名)
 ・令和4年度事業報告、会計報告
 ・令和5年度事業計画
- 4月18日 理事会
 令和5年度 第1回 理事会(於 北地区コミュニティセンター 出席15名)
 1. 総会日程等について
 2. 令和4年度 事業報告・収支決算報告・監査について
 3. 令和5年度 事業計画・収支予算案について
 4. 役員の改選について
- 4月29日 女性委員会
 令和5年度 女性委員会総会
 (於 北秋田市葡萄の樹 出席6名)
 1. 令和4年度 事業報告、収支決算報告
 2. 令和5年度 事業計画案、予算案
- 5月19日 総会
 令和5年度 第11回通常総会
 (於 プラザ杉の子 出席32名)
 1. 令和4年度 事業報告
 2. 令和4年度 収支決算報告承認の件及び監査報告
 3. 令和5年度 事業計画案審議の件
 4. 令和5年度 収支予算案審議の件
 5. 令和5・6年度役員改選の件
 新会長 松橋雅子
- 6月10日 全国大会しずおか大会・「建築士の日」参加打合せ
 ボウリング講習会・全国大会への参加者説明会
 ①ボウリング講習会(於 ボウリングアネックス 参加6名)
 ②全国大会説明会(於 大館市中央公民館 参加7名)
 ③懇親会(於 大昌園 参加7名)
- 6月24日 研修会
 「建築士の日」事業参加(主催 秋田県建築士会 主管 秋田中央建築士会)
 ①親子体験学習・相談会・講演会(於 秋田拠点センター ALVE 参加10名)
 ②ボウリング大会
 (於 ロックンボウル 参加10名)
 結果 優勝 大館・北秋田A
 5位 大館・北秋田B
 ③懇親会
 (於 パーティーギャラリーイヤタカ 参加5名)
- 7月13日 運営会議
 令和5年度大館地区における活動の方向性について(Zoom会議 参加5名)
 ・歴まちの活動方針と今後の行政との協力体制について



7月17日 女性委員会
第1回女性委員会学習会
(於 庫Cafe康瓏堂 参加4名)
「東北ブロック女性委員会八戸大会」参加の打合せ

7月19日 青年委員会
第2回青年委員会
(於 大館市中央公民館 参加6名)
・長走風穴建物の堆積土除去作業について

7月24日 青年委員会
長走風穴現地確認
(於 大館市長走風穴地内 参加3名)
・長走風穴建物の堆積土除去作業に立ち会っての現地周辺確認

7月25日 運営会議
(於 大館市比内総合支所 参加5名)
大館市都市計画課政策監、建設部長との情報交換
・歴まちの活動方針と今後の行政との協力体制について

○能代山本建築士会

4月5日 監査 令和4年度収支決算監査
(於 サクラバ設計)

4月26日 理事会 令和5年度通常総会開催について
(於 中田建設)

5月9日 総会 令和5年度通常総会
(於 プラザ都)

1. 令和4年度事業報告
2. 令和4年度収支決算及び監査報告
3. 令和5年度事業計画(案)
4. 令和5年度収支予算(案)
5. 新役員選出
6. その他

6月3日 女性委員会事業 親子体験学習in能代
(於 能代山本広域交流センター)

「気持ちのいい家を作ろう」in能代
形を作りあげる事を通して子供たちの自由な発想と想像力を伸ばし、親と子のつながりを再確認してもらい、体験を通してものづくり(建築の楽しさ)を考えてもらうきっかけを作る。

親子+建築士がグループとなり、段ボールや廃材などを利用して「きもちのいい家」を作り、その後、自分で作った「家」について子供たちに発表してもらいました。

6月18日 建築士の日事業 中央士会ボウリング大会選手選考会

(於 能代スポーツセンター)

6月22日 地域奉仕活動 金勇清掃ボランティア
(於 旧料亭金勇)



金勇清掃ボランティア活動



金勇清掃ボランティア参加者

○秋田中央建築士会

- 1月20日 令和4年度第3回理事会
(於 アキタパークH)
1. 全国大会あきた大会の報告について
2. 次年度の体制・事業について
3. その他
- 2月25日 事業委員会・青年委員会 合同打合せ
(於 旭北地区コミュニティセンター)
・R5年度の「建築士の日」イベントの開催について
- 4月15日 令和4年度会計収支決算監査
(於 御厨光琳)
- 4月26日 令和5年度第1回理事会
(於 ルポールみずほ)
1. 令和4年度事業報告
2. 令和4年度一般会計収支決算報告
3. 令和5年度事業計画案
4. 令和5年度一般会計収支予算案
5. 令和5年度総会および表彰について
6. 役員改選について
7. その他
- 5月22日 令和5年度第2回理事会、総会、懇親会
(於 PGイヤタカ)
永年表彰
1. 令和4年度事業報告
2. 令和4年度一般会計収支決算承認の件
3. 会計監査報告
4. 令和5年度事業計画案
5. 令和5年度一般会計収支予算案決定の件
6. 役員改選の件
7. その他



総会 会長表彰授与



総会 懇親会

- 5月31日 事業委員会・青年委員会 合同打合せ
(於 センターズ)
・R5年度「建築士の日」記念事業の打合せ
- 6月26日 令和5年度「建築士の日」記念事業、会員親睦会
・親子体験学習・相談会・講演会
(於 ALVE)
・支部対抗ボウリング大会
(於 ロックンボウル)
・懇親会 (於 PGイヤタカ)



総会 会長あいさつ



建築士の日 建築相談

○由利建築士会

- 4月18日 理事会 第1回三役会

(於 由利建築士会事務局)

- ・令和5年度総会の件
- 支部表彰
- 県本部理事選出
- 支部役員改選 (案)
- 実施事業及び予算書 (案)

4月18日 監査 会計監査

(於 由利建築士会事務局)

- ・令和4年度実施事業及び会計監査
- ・その他

5月10日 理事会 第1回理事会

(於 本荘由利地域職業訓練センター)

- ・総会案件決議要件
(令和4年度事業報告及び収支決算承認の件)
(令和5年度事業計画 (案) 及び収支予算書 (案) の件)
- ・建築士大会由利大会

出席者6

6月4日 総会 令和5年度通常総会

(於 安楽温泉)

- ・令和4年度事業報告及び収支決算承認の件
- ・令和5年度事業計画 (案) 及び収支予算書 (案) 決定の件
- ・役員改選
- ・その他 由利大会について

出席者19

7月12日 理事会 第2回三役会

(於 由利建築士会事務局)

- ・由利大会詳細について協議

出席者6

○仙北建築士会

1月19日 役員会 3役会議 (於 事務局)

- 1. あきた大会分配金について

2月3日 講習会 令和4年度仙北建築士会講習会

(於 大曲プラザたつみ)

- 1. 「建築物省エネ法・建築基準法の改正」について

仙北地域振興局建設部建築課

課長 佐藤敬文氏

2. 「建築確認のための基準総則集団規定の適応事例」について

大仙市建設部県建築住宅課

主幹 鈴木 将氏

3. 「畜舎における消防用設備等の特例基準」について

大曲消防署 副主幹 清水川良弘氏

新年会 74名出席



講習会

2月22日 大曲仙北建設技能組合連合会定期大会

佐藤副会長出席

3月27日 大仙市空き家等対策協議会 佐藤副会長

出席 (於 大仙市役所)

1～3月 住宅講座 住宅 新築・リフォーム講座
月1回開催

4月13日 監査 令和4年度会計監査(於 事務局)

4月26日 理事会 令和5年度 第1回常任理事会・理事会 (於 大曲交流センター)

- 1. 総会について
- 2. 令和4年度事業報告並びに会計収支決算報告
- 3. 令和5年度事業計画案並びに収支予算案

- 4. 役員改選、会則の改正について
- 5. 特定積立金規程について

- 6. 令和5年度支部表彰者について
- 7. 全国伝統技術者表彰について

- 8. 県表彰者について
- 9. 空き家無料相談について

10. その他

6月2日 総会 令和5年度仙北建築士会通常総会

(於 フォーシーズン)

1. 令和4年度事業報告並びに収支決算承認の件
2. 会則の改正について
3. 基金管理規程並びに特定積立金管理及び使用規程案について
4. 新役員承認について
5. 令和5年度事業計画案並びに収支予算案について
6. その他

懇親会 75名出席



総会 会長表彰授与



総会 懇親会

○横手建築士会

1月27日 第3回理事会 16:00～17:00

(於 ゆうゆうプラザ)

1. 会務報告
(県本部)
 - ・令和4年12月16日 第3回理事会報告
 - ・第64回全国大会 秋田大会報告
2. 議題
 - ①第64回全国大会 秋田大会について
 - ・地域会還元金の決定
 - ②第4回理事会について
 - ・令和5年4月19日(水)

サンサン横手

③令和5年度横手建築士会総会・講習会について

・令和5年5月20日(土)

横手プラザホテル

担当地域：大雄、大森

・総会役割分担について

次回以降(平鹿、雄物川→十文字、

増田→横手南、山内→横手北、金沢)

④その他

4月19日 第4回理事会 14:00～15:00

(於 サンサン横手)

1. 会務報告

(県本部)

・令和4年度3月29日理事会報告

・令和5年度定時会員総会6月29日(木)

(横手)

・令和5年度横手建築士会総会・講習会

5月19日(金)

担当：大雄、大森

場所：よこてシャイニーパレス

総会14:00～、講習会16:00～

2. 議題

①令和4年度収支決算について

②令和5年度収支予算案について

③全国、県表彰について

④令和5年度横手各役割分担について

⑤会費徴収について

・令和5年5月末までに照井郁人建築設計事務所にて集金

⑥定例理事会、主行事日程について

⑦令和6年度横手建築士会総会について

・令和6年5月17日(金)予定

(担当地区：平鹿、雄物川)

⑧名簿・ホームページ開設について、
他

5月19日 総会直前理事会 13:30～14:00

(於 よこてシャイニーパレス)

1. 議題

・令和5年度横手建築士会総会について

5月19日 横手建築士会通常総会 14:00～16:00

(於 よこてシャイニーパレス)

1. 議事

- ・令和4年度事業報告・収支決算書について
- ・令和5年度事業報告(案)・収支予算書(案)について
- ・役員改正について
- ・その他

11:30 ~ 12:00)

出席者 4名

5月12日 理事会 令和5年第1回理事会

(於 湯沢ロイヤルホテル

13:00 ~ 15:00)

1. 令和4年度会務報告
2. 〃 収支決算会計監査報告
3. 役員改選
4. 令和5年度事業計画
5. 〃 収支予算計画
6. 〃 通常総会について

出席者 11名

5月25日 法規講習会 講習会出席者28名

講師: 仙北地域振興局建築課 (15:30 ~)

通常総会 令和5年度湯沢雄勝建築士会

通常総会

総会出席者27名 委任状37名

計64名 (16:30 ~)

議案その他、原案通り満場一致で可決

来賓・関連企業13名、会員18名で懇親会を開催 (18:00 ~)

(於 湯沢ロイヤルホテル)



5月19日 横手建築士会講習会 16:00 ~ 17:00
(於 よこてシャイニーパレス)

5月31日 第1回理事会 14:00 ~ 15:00
(於 サンサン横手)

1. 会務報告

(県本部)

・定時会員総会 令和5年6月30日

(横手)

- ・横手建築士会通常総会・講習会
- 通常総会 (役員改選) 14:00より
- 講習会 16:00より

2. 議題

- ① 役割分担について
- ② 会費の徴収について
- ③ 定例理事会、主行事日程について
- ④ その他

- ・令和6年度横手建築士会総会担当地区について
- ・退会者、入会者について

○湯沢雄勝建築士会

4月18日 執行役員会 令和5年度第1回執行役員会
(於 山脇組 14:00 ~ 16:00)

出席者 4名

5月12日 監査 令和4年度会計監査

(於 湯沢ロイヤルホテル)



講習会



総会 懇親会

◆「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」説明会◆

主催：（一社）秋田県建築士会、共催：（公社）日本建築士会連合会
後援：（一財）秋田県建築住宅センター

この度の記録的豪雨により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

令和5年7月15日に発生した豪雨により、県内では多くの住宅が甚大な被害を受けました。我々建築士には、被災住宅の復旧にあたり果たすべき大きな役割があるものと考えております。

日本建築士会連合会災害対策委員会では、昨年度『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』を策定したところですが、早期の対応が求められることから、全国に先駆けて標記説明会を開催いたしました。

◆開催日 令和5年8月10日（木） 14：30～16：10（14：10受付開始）
受講者員78名 ※行政関係者25名、一般53名（内、施工関係者41名）

◆講習会場 あきた芸術劇場ミルハス 地下1階 小ホールB

◆対象 建築士（会員、非会員共）、行政職員、関係者他

◆受講料 無料

◆テキスト、資料

- ・「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」（（公社）日本建築士会連合会） テキスト
- ・令和元年東日本台風災害等から学ぶ被災者支援活動のあり方 【資料1】
- ・令和元年台風19号被災者支援建築・住宅相談実施要領（相談実務編：抜粋版） 【資料2】
- ・水害に遭ってしまったときの復旧に向けたアドバイス資料（全編：抜粋版） 【資料3】

◆講師 日本建築士会連合会災害対策委員（関東甲信越ブロック：長野県） 湯本 和正 様

◆講師プロフィール◆

公益社団法人 長野県建築士会 理事・防災委員長 湯本 和正 様

建築士会連合会 災害対策委員会 オブザーバー
浸水被害住宅の技術対策マニュアル作成WGメンバー
一級建築士（建築士会会員）/長野県被災建築物応急危険度判定士
長野県被災宅地危険度判定士

▶災害支援活動経験

昭和59年 長野県住宅部施設課勤務 長野県西部地震災害文部省被災施設査定業務担当
平成7年 長野県住宅部建築指導課勤務 阪神淡路大震災後の応急危険度判定制度創設担当
平成19年 長野県北安曇地方事務所商工建築課勤務 新潟県中越沖地震応急危険度判定業務派遣
平成23年 長野県建設部建築指導課勤務 長野県北部地震発災時応急危険度判定主務担当
平成26年 長野県建設部都市・まちづくり課勤務 長野県神城断層地震被災宅地危険度判定総括担当
令和元年 長野県建築士会勤務（事務局長）令和元年東日本台風災害被災者相談業務従事

次 第

1. 主催者あいさつ

一般社団法人 秋田県建築士会 会長

淡 路 孝 次

2. 講 義

講師：公益社団法人 長野県建築士会

理事・防災委員長 湯 本 和 正 様

- 1) 『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』について テキスト
- 2) 令和元年 東日本台風災害等から学ぶ被災者支援活動の在り方 【資料1】
- 3) 被災者支援建築・住宅相談実務について 【資料2】
- 4) 浸水被害の復旧に向けたアドバイス 【資料3】

3. 質疑応答



※この日の講習は映像で記録され、秋田県建築士会ホームページから『動画講習』として無料で聴講できます。

尚、『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』は、(公社)日本建築士会連合会にホームページからダウンロードが可能です。

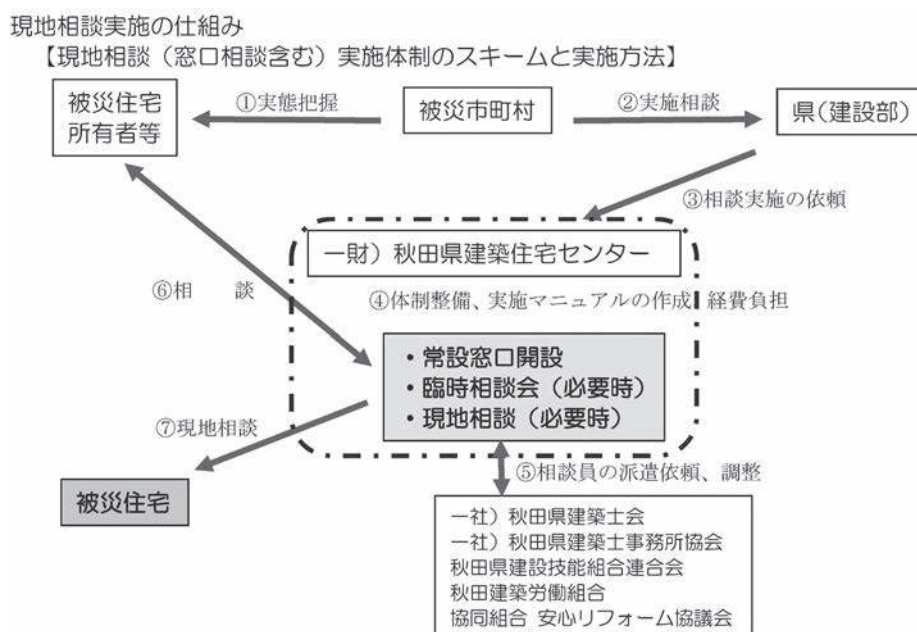
http://www.kenchikushikai.or.jp/data/saigai-taiou/202306_info_1-3.pdf

また、各地域建築士会で冊子版を無料配布しております。

◆「あきた浸水被害住宅相談員」制度の創設について◆

(一財)秋田県建築住宅センターでは、この度の大雨による被害を受けた方からの住宅の補修・再建等に係る相談に対応するため、県と協議のうえ、国土交通省の補助を得て、浸水被害住宅に対する相談体制を構築することとし、その一環として、「あきた浸水被害住宅相談員」制度を創設し、今般の浸水被害住宅の復旧と今後の水害対策にも資するとともに、建築専門職への県民の期待に応えることとしております。

つきましては、当会が実施するする『「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」説明会(秋田県建築士会HPにおいて動画講習が可能)』を聴講いただき、あきた浸水被害住宅相談員として、ご登録いただきたく、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



登録に関する実施要領の要旨(詳しくは、秋田県建築住宅センター HPからご確認いただけます。)

- ・一般財団法人秋田県建築住宅センターは、浸水被害世帯からの相談体制構築のため「あきた浸水被害住宅相談員」制度に登録いただける相談員を募集します。
- ・浸水被害住宅の相談は、原則、当法人の職員が対応後、相談者の要望等に応じ、登録済みの相談員から、現地に対応していただきます。(現地相談の日程は適宜調整します。)
- ・現地には複数の相談員を派遣し、移動を含めて半日程度の単位で調整します。
- ・相談員には当法人所定の旅費及び日当(報酬)を支給し、相談者への費用負担は求めないものとなります。
- ・現地相談は、建築に関する知識・技術に基づく助言の範囲で行うものとし、見積書作成や業者紹介は含まないものとします。(別途相談者と修繕契約を交わすことは拒まない)
- ・本相談で知り得た情報は、勤務先以外の第三者に漏らすこと、他の目的に使用することを禁止します。

◇申請書を秋田県建築住宅センター HP (URL : <https://www.akjc.or.jp/news/2696/>) からダウンロードして、メールに提出してください。

【問合せ先】(一財)秋田県建築住宅センター 浸水被害相談窓口

e-mail : jouhou@akjc.or.jp

電話 : 018-836-7851

◆令和4年度 木造住宅耐震診断支援事業の概要について◆

1. 受託状況

8市町村と委託契約締結。28戸、内2戸中止（前年29戸、内1戸中止）の実績

・鹿角市 0戸	・大館市 5戸	・北秋田市 1戸	・小坂町 0戸
・能代市 0戸	・男鹿市 2戸※	・五城目町 0戸	・八郎潟町0戸
・秋田市 5戸	・由利本荘市1戸	・大仙市 3戸※	・横手市 7戸
・美郷町 4戸	・仙北市 0戸		※内、1戸中止

2. 診断結果

・最高評点1.40 ・最低評点0.02 ※平均評点 0.26

3. 地域別の登録診断士数

◇登録診断士数 計54

・鹿角 3名	・大館北秋田 8名	・能代山本 6名
・秋田中央 8名	・由利 3名	
・仙北 13名	・横手 11名	・湯沢雄勝 2名

◇今後の課題

・現在登録されている診断士の人数において地域的なばらつきがあり、多少増員することが望ましい。

◇秋田県耐震診断技術者の登録（更新）について

秋田県では、木造住宅の耐震化の促進に向けて、住宅を所有する方が安心して耐震診断を受けられるように、耐震診断を実施する上で必要な知識・技能を有する建築士を「耐震診断技術者」として登録し公開しております。

登録者の多くは、令和6年3月31日で登録期限を向かえます。継続して登録を希望する場合は更新手続きが必要となりますので、忘れずに更新してください。

◇窓口 秋田県建設部 建築住宅課 建築指導班 電話：018-860-2565

URL：<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/22034>

○令和5年度（公社）日本建築士会連合会東北ブロック会総会・第1回会長会議

役割：東北ブロック会会長 淡路孝次、事務局 秋田士会

日時：令和5年7月11日（火）

場所：ホテルポールスター札幌市

建築士会東北ブロック会総会が札幌市で開催されました。東北各県会長様、及び北海道建築士会会長様のご出席され、（公社）日本建築士会連合会の近角眞一会長様、藤本専務理事様を来賓としてお迎えいたしました。

審議は、東北ブロック会事業についての他、「第64回建築士会全国大会あきた大会」を含む令和4年度の事業報告・決算の審議が行われ、全て承認されました。

淡路会長、および事務局の任期も今年度限りとなる予定です。次県への引継ぎまで、滞りなく業務を実施する所存です。

◆忘れてませんか！ 建築士定期講習のお知らせ◆

平成20年施行の建築士法の改正により、建築士事務所に所属する全ての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年以内に受講することが義務付けられております。

以下の方は、令和5年度末（令和6年3月31日）までに受講する必要があります。

- ・ 建築士事務所に所属し、令和2年度に定期講習を受講した方
- ・ 令和2年度以前に建築士試験に合格し登録を行ったが未受講の方

今年度の秋田県建築士会が行う定期講習は次のとおりです。ぜひ、当会主催の講習を受講していただきますようお願いいたします。

第3回定期講習（1E-03）

日 時	令和5年11月9日（木）
場 所	大仙市大曲交流センター
定 員	80名
募集期間	7月1日～10月20日 締め切り

第4回定期講習（1E-04）

日 時	令和6年3月6日（水）
場 所	秋田テルサ
定 員	80名
募集期間	11月1日～2月10日 締め切り

編集後記

大館北秋田建築士会 松橋 雅子

今年7月の豪雨災害により被害を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

7月14日から16日にかけて降り続いた雨により、秋田県は甚大な被害を受けました。なかでも、五城目町は昨年の災害復旧も落ち着かない中で再びの河川増水、秋田市中心市街地では住宅密集地域における「内水氾濫」により、のどかな住宅街の景色が一変して恐ろしくも思えました。私のまちだったらどうしていただろう？と思うとゾッとします。

そしてニュースは瞬く間に全国に届き、全国大会に参加してくれた多くの建築士会メンバーからお見舞いの電話や、「ニュースで全国大会の際に通った道が崩れている様子を見た」との声や「直接秋田へ行くことができないので、ふるさと納税をします」等など、様々なメッセージが寄せられました。本当に全国皆さんの暖かい励ましに感謝します。

また、今日もこの酷暑の中、被災地に入り復旧活動をしてきている県内外からの自治体職員や学生さん、建築士の皆さん、本当にご苦労様です。被災された皆様が一日も早く日常の生活を取り戻すことができることを祈っています。

私は3期6年間女性委員長を務めさせていただき、めでたくこの春卒業し清水川道子新女性委員長

にバトンを渡しました。責任重大な役職に戸惑いつつも、2期目から3年間は世界的なコロナ感染拡大で活動の殆どができない窮屈な期間を経て、皆様とともにあきた大会を終え、女性委員長は卒業しましたが、今も女性委員会メンバーとして地域活動に参加させていただいております。

女性委員会では、コロナ禍で活動ができなかった約3年の間に、あきた大会・会場行事委員会メンバーとして青年委員会と共に全国大会開催に向けテーマやPR動画作成や、種々企画アイデアの議論をするなど、前向きに取り組んできました。おかげさまで今ではオンライン会議も抵抗なく駆使できるようになり、以前にもまして情報共有がスムーズになり、コロナデメリットどころかメリットだらけだったと実感しています。これも草薙前青年委員長をはじめ青年委員会に皆様のおかげです。ありがとうございました。

今回の「あきた建築士会ニュース」は、女性委員会からの活動報告が盛りだくさんとなっております。皆様には日頃の女性委員会活動を知って頂ける絶好の機会だと思います。マジで女性委員会メンバーみんな「建築愛・シビックプライド」はハンパないです！。

私も今年から大館北秋田建築士会会長として、地元密着で「好きなことは積極的に、生き方は魅力的に」をモットーに皆さんとともに頑張りますので、ヨロシク!!

秋田県建築士会 行事スナップ

〇6月3日(土) 親子体験学習「気持ちのいい家つくろうin能代」



〇6月24日(土) 「建築士の日」記念事業・親子体験学習



〇6月29日(木) 定時会員総会





親子体験学習「気持ちのいい家つくろう in 能代」

あきた建築士会ニュースNo.160 (2023年9月号)

発行／一般社団法人秋田県建築士会 住所／〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 秋田アトリオンビル5階(一財)秋田県建築住宅センター内 電話／018-827-3718
編集／一般社団法人秋田県建築士会事務局 発行日／令和5年9月25日 印刷／秋田協同印刷株式会社